

Bulletin

交通 ● ブリテン

ISSN 1349-9610

2025年
年報号

67

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

巻頭言：福田 敦

交通システム工学科への期待

Contents

- 2 巻頭言：福田 敦
- 3 令和7年度 研究室紹介
- 6 TOPICS 新任教員の紹介
- 7 TOPICS 交通システム工学科配置図
- 8 令和6年度 修士論文・卒業研究
- 12 令和6年度 教員の研究・活動
(2024.4.1～2025.3.31)
- 31 令和6年度 学生の受賞等
(2024.4.1～2025.3.31)
- 32 教室の動き
- 35 令和6年度 就職状況
- 36 COLUMN
- 36 編集後記

表紙写真は、交通システム工学科写真コンテストの写真です。
撮影者：伊藤公人さん



巻頭言 交通システム工学科への期待

教授 福田 敦



学部生時代に大変感化された本が2冊ある。いずれもすでに絶版となっているが、一冊はプシュカレフとジュパン共著で月尾嘉男先生が翻訳された『歩行者のための都市空間』である。内容は、歩行者空間の調査から設計まで非常にシステムティックに詳述したもので、私自身の博士論文の原点となった本である。もう一冊が、ニューサウスウェールズ大学のW・R・ブランデン教授が著した『交通システム分析』であった。この本は、さまざまな交通計画問題にシステム工学的的手法を適用して解く方法を具体的に示した本である。

私は、恩師である榛澤芳雄先生の下で、システム工学、OR、数理計画を学んでいたもので、この本に大いに感化されると同時に、初めて交通計画へのシステム工学的アプローチとは何かを理解させてくれた本であり、私にとってはバイブル的な本である。独立して研究室を持った時に、研究室名を「交通システム」としたのも、実はこの本に由来している。「交通システム研究室」という名称には、交通問題にシステム工学的アプローチで取り組むという意味を込めたつもりである。また、システム工学的アプローチが必要ということで当学科に請われて来られた榛澤先生が果たされてきた役割を、私も継いでいくことをひそかに意図していた。

それから時が過ぎ、学科名称を「社会交通工学科」から変更することになった。多くの卒業生は「交通工学科」に戻してほしいと考えておられ、私自身も「交通工学科」の卒業なので戻せないのかとは思っていたが、当時主任をされていた巻内勝彦先生が「寄附行為で元の名前に戻すようなことは通らない」と強くおっしゃった。そこで何か良い名前はないかと、海外で交通工学・交通計画を教えている主要な大学をいろいろと調べた。そうすると、「Transportation Systems Engineering」という語に行き当たった。そこで、「交通工学科」が駄目なら「交通システム工学科」しかない、巻内先生に進言した。先生は、「君の研究室と同じじゃないか。絶対先生方は賛成しないよ。何で君は研究室の名前をそんな名前にしたんだ」とかなりボヤかれた。しかし、最終的には「交通システム工学科」しか良い名前がなく、これが現在の学科名称となった。

実はこの時、新たな学科名称を「交通システム工学科(Transportation Systems Engineering)」として良いか、

海外の先生方にも相談した。イギリスで勉強された先生方には、ものすごく違和感があると言われた。イギリスでは「Transportation」に「System」という意味が含まれているので、「System」「System」と言っているように感じるのとことであった。この意見を聞いて、「Transportation Systems Engineering」は、交通システム(Transportation Systems)を取り扱う工学(Engineering)と解するのが正しいのだと理解した。学科名称を変更した時に多くの先生に、研究室の名称を変えないのかと冷やかされたが、変えなかった。意地になって変えなかったわけではなく、上記の通り私の中ではまったく意味が違うと考えていたので変えなかった。

学科名称の「交通システム」には、陸上交通だけではなく海や空も含めたあらゆる交通が含まれるし、個々の交通機関だけではなくその組み合わせ、インターモーダル輸送や、今で言えばMaaSやフィジカルインターネットなども含まれていると解釈できる。また、交通機関の計画・建設だけではなく、維持管理や運営なども含まれており、必然的に情報工学や環境工学も包含している幅の広い概念だと考えられる。実に当学科が目指している教育・研究内容を的確に表している名称である。

当時、もうひとつ考えていたのは、「交通システム」とすることで、単なる「土木系」の学科とは異なり、対象の広さや情報分野などの親和性があることが示せるのではないかということであった。しかし、現実を見ると必ずしも学科が目指している多様性や学際性、あるいは幅の広さというものが、社会、特に受験生には伝わっていないようである。そもそも日本には、交通システムという受験分野は存在していない上に、自らニッチなポジションを取っているの、受験生には分かりにくいのであろう。しかし、海外ではメジャーな分野であり、学科としてはもっとその特徴を伝える努力を続けるべきであろう。また、個々の教育や研究が、「交通システム」を意識したものになっているのか、教育プログラムとして学科の特徴を打ち出しているのか、学科の皆さんには今一度振り返ってもらいたい。

私は一線を離れるので、これ以上跡を濁すつもりはない。これから学科を背負っていく先生方に、大いに期待したいところである。

令和7年度 研究室紹介

745A号室

移動空間デザイン 研究室

江守 央 教授



誰でも安全に快適な歩行空間を活用できるように、さまざまなICT技術を用いて移動できるまちづくりの実現を目指す研究を行います。特に誰でも利用が可能な衛星測位システム(GNSS)、レーザ計測技術、写真計測技術(SfM)とオープンデータの活用を行い、位置情報や形状を計測・解析・可視化する研究を行います。これにより、高齢者など移動にさまざまな理由で困難を抱える方への移動支援を検討するほか、これから社会実装されると予想されている自動配送ロボットなどの小型端末の移動を確保するための情報提供への応用を目指しています。

令和6年度は大学院生1名、卒研究生12名、ゼミナール生13



2024ゼミ合宿@伊豆



ICT技術を体験で学ぶゼミ

名の総勢26名の学生が在籍し、ゼミ合宿を含めて活動をしました。研究室のアイコンマークも決まりました。



●主な卒業・修士研究テーマ

- ① 低価格GNSS測位の精度および各種交通モードの移動特性の研究
- ② モバイル搭載端末LiDAR計測の精度検証
- ③ SfMを用いたさまざまな設備・構造物のモデル化に関する研究
- ④ VRとHMDによる仮想空間内での歩行者サイン視認実験
- ⑤ バリアフリー整備と移動制約者の負担感の定量化分析
- ⑥ 駅周辺地区の新たな交通モードの提案と街路デザイン

●ゼミナール・テーマ

GNSS、交通バリアフリーについて体験を含めて学習します。また、VR等の空間情報技術を用いたワークショップ、当事者参加のワークショップなどを実践するなど専門的人材育成を目指します。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

特にありません。まちやひと、社会貢献に興味のある方を歓迎します。

卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

744号室

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 教授

吉岡慶祐 准教授



当研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージ」することを目標として研究を進めています。

キーワードは「交通まちづくり」「インターモーダルリズム」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。'まち'は空間的広がりを意味し、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモーダルリズムとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶などの陸海空のあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的にシームレスな移動を可能にしようとする概念です。インターモーダルリズムの確立を目指し、交通まちづくりを実践するための理念、政策、理論、技法などについてフィールド調査や交通分析などを実施しながら研究を進めます。加えて、交通現象の理論



研究室旅行での集合写真



ゼミナールでの成果発表

や調査・分析をベースとした道路の計画・設計に関する研究も行っています。

●卒業研究テーマ

- ・空飛ぶクルマやVTOLの社会受容性、日本での市場把握に関する研究
- ・公共交通(航空、鉄道、バスなど)の交通行動分析
- ・マーケティング施策による公共交通活性化分析
- ・地方ローカル線(いすみ鉄道等)を活かした地域交通計画
- ・日本の港湾の効率化・運営に関する研究
- ・電動キックボードなどの新たなモビリティとの混在を見据えた道路空間の検討
- ・人流データを用いた行動把握調査
- ・交差点の交通容量・制御方式
- ・ラウンドアバウトにおける車両挙動の調査・分析
- ・道路交通のサービスの質の評価

●ゼミナール・テーマ

- ・地方創生政策アイデアコンテストに応募
- ・交通計画分野に関する文献レビュー(英論文含む)
- ・就活に向けた実力アップ(SPIなどの試験対策、国土交通白書の輪講など)

●卒業研究、ゼミナール着手条件

原則として「交通需要予測」「空港・港湾工学」「交通事業論」を履修すること。TOP資格を取得。

これまでの卒論・修論の概要やゼミ旅行などのイベント、学会発表参加などの研究室活動実績はホームページを参照してください。(pubtrplan.trpt.cst.nihon-u.ac.jp)

交通システム 研究室

石坂哲宏 教授
菊池浩紀 助教



交通システム研究室では、さまざまな交通問題に対してシステム工学的アプローチから取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。具体的には、交通安全対策の実施による交通事故の削減、都市鉄道や新幹線などの軌道系交通機関の導入、公共交通軸を中心としたコンパクトな都市形態の実現などが、CO₂排出量の削減や経済効果の増減にどの程度寄与するか検証しています。これらの検証のために、マイクロ交通流シミュレーションモデルや都市モデルなどの構築を行っています。例えば、画像処理により交通特性をデータ化し、マイクロ交通流シミュレーションモデルで自動運転車両の混在下の交通制御の評価を行っています。また、GISやシステム・ダイナミクスを用いて、都市におけるコンパクト性や施設へのアクセス性、都市政策の実施効果の分析や評価を行っています。

これらのモデルやシステムの構築は、各国の大学あるいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。近年では、タイのカセサート大学、ウボンラチャタニ大学、インドのインド工科大学ハイデラバード校、フィリピンのデ・ラサ

ール大学、ザビエル大学、オーストリアのウィーン工科大学、ドバイ政府道路交通局などと共同で研究を進めています。

●卒業研究テーマ（一部）

- ・深層学習による自動車・歩行者の挙動特性の把握
- ・シミュレーションによる自動運転車両の交通制御評価
- ・画像処理による交通流の安全性・円滑性評価
- ・都市鉄道事業における運営方法の分析
- ・日本・タイの小学校における交通安全教育の実態分析
- ・持続可能な都市の実現に向けた定量的分析
- ・国内外におけるスマートシティの体系的整理と分析
- ・次世代自動車の普及に関するモデル構築と分析

●ゼミナール・テーマ

小グループごとに対象都市を選び、そこでの具体的な交通問題を取り上げて、それを解決するための計画案を作る。計画案作りの過程や現地調査等を通じて、現況調査の方法や各種の数理計画的手法・シミュレーションモデルを活用した計画案の分析方法を学習する。グループワークでは、交通問題の解決に向けた議論を行い、交通需要予測やマイクロ交通シミュレーションのソフトウェアを用いて発表および講演会を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通問題の解決にかかわる職業に就くことを希望している学生。交通需要予測、国際コミュニケーション論、国際開発援助論、多変量解析、プログラミング、情報通信システムの受講を推奨する。研究室に関する詳しい情報はホームページを参照してください。(trssystem.trpt.cst.nihon-u.ac.jp)

交通環境 研究室

伊東英幸 教授
末次優花 助手



交通環境研究室では、交通にかかわるさまざまな環境問題に取り組んでおり、環境との共生を目指した交通計画の立案や評価ならびに交通環境の改善に向けた研究を進めています。具体的には、エゾシカやアマミノクロウサギ、ヤンバルクイナなどを対象として野生動物と自動車の事故発生要因の分析および対策効果の検証や、グリーンスローモビリティ導入による移動サービスの向上およびCO₂排出量の削減効果の推計、ウェルビーイング(Well-being)の影響分析などを行っています。また、その他には地域貢献型研究として、さまざまな自治体と連携し、コミュニティバスやデマンド交通の導入による効果の推計なども行っています。

令和6年度は大学院生5名、卒研生13名、3年ゼミ生16名の総勢34名が在籍し、ゼミナールでは富里市の地域公共交通計画の改善案の提案を行い、卒業研究中間発表会も年2回実施しました。

●修士論文・卒業研究のテーマ（一部）

- ・自動車のハイビーム点灯によるヤンバルクイナの交通事故削減効果の推計
- ・MaxEntによる生息適地を考慮したアマミノクロウサギのロードキルの分析
- ・MaxEntを用いたヤンバルクイナの生息適地推計と交通

事故分析

- ・野生動物の警戒標識設置による自動車の速度減少効果の推計
- ・高周波発生装置設置によるニホンジカの線路進入防止効果の検証
- ・グリーンスローモビリティのライフサイクルアセスメントによる低炭素性評価
- ・グリーンスローモビリティのボランティア活動によるWell-Beingの影響分析
- ・デマンド交通のWEB予約システムの導入効果
- ・自動運転バスの導入によるシビックプライドの影響分析

●ゼミナール・テーマ（令和6年度実施内容）

- ① 研究室で取り組んでいる研究内容の紹介やロードキルに関するグループワーク
- ② 社会貢献型学習(自治体との協働によるグループワーク)として、富里市の地域公共交通計画の改善案を提案
- ③ インターンシップに向けた就職・進路セミナーや卒業生等による業務内容の紹介

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通にかかわる環境問題に関心を持ち、解決に向けた高い意欲があること。



富里市長への地域公共交通計画の改善案発表の様子

空間情報 研究室

佐田達典 教授
李 勇鶴 准教授



空間情報研究室では、衛星測位技術、レーザ点群計測技術、写真計測技術をベースに、先端的なセンサを利用して位置や形状を計測・解析・可視化する研究を行い、3次元地図整備、交通施設整備への応用を目指しています。

衛星測位技術の利用可能範囲を見極めるため、GPS(米国)、QZSS(日本)、Galileo(欧州)を用いた測位システムの精度評価を行っています。また、自動運転のために必要となる高精度3次元道路地図は、車両に衛星測位装置とレーザ装置を搭載したモービルマッピングシステム(MMS)により取得される点群から作成されます。そこで、高精度を維持できるMMSの走行条件の検証を実施しています。さらに、PLATEAU(プラトー)に代表される日本全国の3次元都市



鉄道 MMS による曲線部計測実験



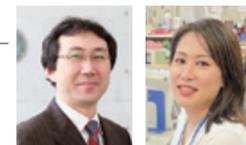
福島ロボットテストフィールドでの UAV レーザによる橋梁点群計測実験



福島ロボットテストフィールドでの MMS

交通計画 研究室

小早川 悟 教授
青山恵里 助教



交通計画研究室では、「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として研究を行っており、自動車のトリップエンドとしての駐車をどのようにコントロールしていくか、都市における物流や貨物車の問題をどのように解決していくか、自転車や二輪車の利用や走行に関する研究、交通安全対策に関する研究、災害発生を考慮した都市交通計画の検討などを進めています。また、道路の計画設計、維持管理に関して道路の交通容量やサービス水準の研究も行っています。卒業研究中間発表会や研究室懇親会では、研究室の卒業生の先輩方にも参加していただき、研究内容や就職活動に関するさまざまな意見交換を行っています。

●卒業研究テーマ

- ① 駐車施設の運用に関する研究
普通乗用車の駐車スペースの供給量を増やすことを主眼においた駐車政策から、既存の駐車スペースを有効活用するための駐車場の隔地・集約化に関する研究や、貨物自動車や自動二輪車用の駐車スペースを確保するための研究に取り組んでいます。また、駐車場の出入口の安全性に関する研究も行っています。
- ② 物流システムに関する研究
物流効率化のための施策として建物内共同配送に関す

モデルの整備が進められています。写真計測技術を活用して3次元建物モデルを自動生成する技術の研究に取り組みます。

●卒業研究テーマ（令和6年度）

- ① GPSと併用するGalileo衛星の選択効果の検証
- ② QZSSのセンチメートル級測位補強サービスの精度検証
- ③ MMSによる路面計測点群データのノイズ除去法の比較
- ④ 鉄道用MMSによる曲線部での構造物形状の精度検証
- ⑤ MMSで取得した点群による3次元建物モデルの作成
- ⑥ UAVレーザによる橋梁点群計測の精度検証
- ⑦ 地中レーダを用いた地下埋設物の3次元可視化

●ゼミナール・テーマ

衛星測位、レーザ点群計測、写真計測について専門書の輪講を行い、計測装置の操作演習を行います。また、衛星測位解析ソフトウェア、点群解析ソフトウェアの演習を行い、専門的知識を高めます。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

特にありません。新技術に興味のある方を歓迎します。

る研究や、貨物車対策のためにビッグデータを活用し貨物車の動きを把握する研究を行っています。

- ③ 交通安全に関する研究
道路形状からみた交通事故対策の考え方や生活道路における交通安全対策に関する研究を行っています。さらに、無信号横断歩道における車両のゆづりを促進させる社会実験にも取り組んでいます。
- ④ 自転車交通に関する研究
駐輪問題や、自転車の通行空間整備について研究を行っています。
- ⑤ 災害時を考慮した都市交通計画に関する研究
災害時における支障物資輸送のための道路交通計画に関する研究や水害時や津波発生時の避難計画に関する検討を行っています。
- ⑥ 道路の交通容量に関する研究
信号交差点での車両挙動に着目し、道路の計画設計に資する知見を得るための研究をしています。
- ⑦ 道路のサービス水準に関する研究
道路利用者の受ける“サービス”を評価する方法について、高速道路を対象に検討しています。

●ゼミナール・テーマ

- ・『道路交通技術必携』の輪読および発表
- ・これからの交通工学や研究活動の進め方等の講義、卒業研究に向けた研究レビューの演習
- ・交通安全対策の現場見学会、交差点解析の基礎演習

●卒業研究、ゼミナール着手条件

ロジスティクス概論を受講すること。

鉄道構造 研究室

谷口 望 教授
齊藤 準平 准教授



当研究室では、公共交通を支えるために重要となる交通基盤（鉄道構造物や道路構造物）を対象として、さまざまな活動や研究を行っています。交通基盤の新たな建設、膨大な数の交通基盤の機能維持など、交通基盤を取り巻く諸問題は多く、その解決を目指したテーマを設定し研究に取り組んでいます。

研究活動では、積極的に成果を公表することとし、学協会の発表会やシンポジウムに投稿します。ゼミナール活動では、配属学生との相談の上、学生向け橋梁コンペティションへの参加のための製作、コンクリートカヌー大会に出場するためのカヌー作製などを通じて、習得した知識を活かすことやモノづくりの楽しさを経験します。



鉄道工事現場見学会の様子（2024.12）

フォース橋（英国・エディンバラ近郊）

●卒業研究テーマ（令和6年度）

谷口教授

- ・鉄道技術を活用しサステナビリティを向上させた道路用合成桁の開発
- ・鉄道用曲線合成桁におけるダイアフラムの設計手法の検討
- ・多主桁を有する鉄道用SRC桁の応力分担率の検討
- ・トンネル立坑や鋼管杭頭接合部の合理的設計に関する検討
- ・各種鉄道構造物に対する合理的設計法や維持管理手法に資する研究

齊藤准教授（令和6年度は非開講のため令和5年度実績）

- ・圧縮応力の継続付与によるコンクリートの内部空隙構造の挙動の解明
- ・振動締固め時間の違いがコンクリートの材料分離や強度に与える影響の解明
- ・効率的な道路橋点検を目指した健全性診断結果と環境・気象条件との相関解析
- ・ポーラスコンクリート版の反り現象のメカニズムの解明

●ゼミナール活動

- ・ジャパンスチールブリッジコンペティション（JSBC）用の橋梁の設計、製作（谷口）
- ・自由研究、課外活動（現場見学会、工場見学会、施工体験会など）

●卒業研究着手条件

材料・構造に関する科目の履修を推奨する（卒研と同時に履修可）。

TOPICS 新任教員の紹介



李 勇鶴 准教授

この度、日本大学理工学部交通システム工学科の准教授に着任させていただきましたこととなりました。

李（リ ヨンフ）と申します。私は中国吉林省の出身で、寒冷な環境で育ちましたが、実は寒がりです。北京の清華大学にて土木工学を専攻し、学士号および修士号を取得した後、日本に留学して、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻にて博士号を取得し、株式会社パスコを経て、今年4月より本学科にてお世話になることとなりました。

修士課程では建設や不動産分野におけるシステムの開発に携わり、博士課程では地球統計学的手法であるKrigingを用いた地価の補完（予測）に関する研究を行いました。株式会社パスコでは15年間、研究開発部門に所属し、写真測量、レーザー測量、GISに関する幅広い研究開発に取り組んできました。主に、以下のような研究開発業務を担当しました。

- ・3次元道路ネットワークデータの作成および自動車のエコルート走行への活用
- ・スマートフォンの撮影画像や内蔵センサ

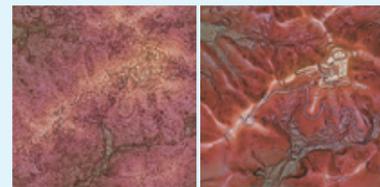
を用いた歩行者の自己位置・姿勢の推定

- ・短基線ステレオによる3次元計測
- ・深層学習を用いたMMS画像からの道路標識、顔、車両、影領域等の自動検出
- ・深層学習を活用したポリゴン内部へのラベルの自動配置
- ・航空機LiDAR点群の自動フィルタリング（画像1）
- ・LoD2の3次元建物モデルの自動作成（画像2）

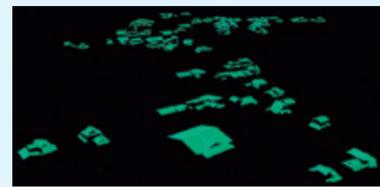
企業における研究開発の特徴のひとつは、実用性を重視する点にあると考えています。実際に、点群の自動フィルタリングに関する研究開発では、高性能な自動化ツールを開発し、現場で活用することで、作業効率の大幅な向上を実現しました。また、研究開発の過程においては、現場部門の課題抽出から研究開発の企画、自動化手法やアルゴリズムの検討、ツールの開発、現場への導入に至るまで、一連のプロセスを担当者として実施したことも、貴重な経験となりました。

今後は、大学教員としての新たな立場から、これまでの企業での経験を活かし、実践的な研究を推進するとともに、学生の教育にも力を注いでいきたいと考えています。特に、社

会実装を意識した研究を進めることで、学術的な知見を社会へ還元するとともに、学生が実践的なスキルを身につけられるよう支援していきます。また、産学連携の機会を積極的に活用し、研究と教育の両面で新たな価値を生み出せるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



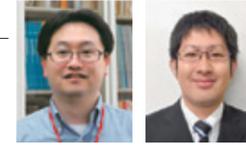
画像1 自動フィルタリング前後の比較（左：自動フィルタリング前の全点群、右：自動フィルタリング後の地表面点群）※画像提供：(株)パスコ



画像2 オルソ画像とDSMによる3次元屋根モデルの自動作成 ※画像提供：(株)パスコ

地盤工学 研究室

峯岸 邦夫 教授
山中 光一 准教授



研究室構成は、大学院博士後期課程1名、前期課程2名、卒研生14名、ゼミナール生14名の合計31名で、教員は峯岸教授、山中准教授の2名体制で研究・教育を進めました。

当研究室では、交通施設（鉄道、道路、空港、港湾などに関連する施設）の設計・建設にかかわる地盤の力学的問題や新材料・新技術の開発、地盤構造物の維持管理にかかわる諸問題について研究を行っています。

卒業研究では、継続研究の舗装用に強化されたジオテキスタイル（土木用不織布）の耐久性および通水性能、ジオシン

セティックスを立体的に組み立てて地盤内に敷設をするジオセルの力学特性の把握ほかに、補強盛土工法の維持管理に関する研究等を行いました。

これらの成果



小型 FWD を用いた現場試験

室内 CBR 試験

セティックスを立体的に組み立てて地盤内に敷設をするジオセルの力学特性の把握ほかに、補強盛土工法の維持管理に関する研究等を行いました。これらの成果

は、(公社)地盤工学会関東支部発表会や(公社)土木学会関東支部技術研究発表会において発表を行っています。

学生の動きとしては、例年、地盤工学会関東支部主催のソイルストラクチャーコンテスト（与えられた地盤材料を用いて構造物を作製し、強度等を競うコンテスト）に学部生が参加し、日頃の研究や勉強成果を活かしています。

また、地盤工学を研究する学生や研究者が集まり懇親を深める関東大学地盤研究室対抗ソフトボール大会に研究室全員で参加し、他大学の学生や他研究機関の研究者達との情報交換、懇親を深めています。

●卒業研究テーマ

- ① 舗装用強化ジオシンセティックスの耐久性および排水性評価
- ② 軽量化地盤材料による埋設物への土圧低減特性
- ③ 乱された関東ロームの力学特性
- ④ 路床・路盤の弾性係数に関する研究
- ⑤ ブロック系舗装に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ① 交通地盤工学（交通施設の地盤工学）とは？
- ② 大地震・集中豪雨等による地盤災害とその対策技術
- ③ 地盤構造物への新素材・新材料の利用技術
- ④ 新しいアスファルトの技術
- ⑤ フィールド・トリップ（地盤の観察、現場見学など）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

卒業研究は地盤力学、地盤・基礎構造と地盤材料実験を履修（同時履修可）。

TOPICS 交通システム工学科配置図

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|--|
| 4F | 移動空間デザイン 演習室 745 B室 | 移動空間デザイン研究室 江守 教授 745 A室 内線 5503 | 運輸交通計画研究室 轟 教授 吉岡 准教授 744室 内線 5219 | 運輸交通計画演習室 743 B室 | |
| 3F | 交通システム研究室 石坂 教授 菊池 助教 739室 内線 5355 | 交通環境研究室 伊東 教授 末次 助手 738室 内線 6476 | 交通環境演習室 737室 | 交通システム演習室 735室 | |
| 2F | 交通システム工学科 事務室 熊田・高梨 7214室 内線 5239 | 交通システム工学輪講室 7213室 | 空間情報研究室 佐田 教授 李 准教授 7212室 内線 8147 | 交通計画研究室 小早川 教授 青山 助教 7211室 内線 5242 | 交通現象解析室 7210室 |
| 1F | 鉄道構造研究室 谷口 教授 7111室 内線 5240 | (鉄道構造研究室・演習室) 齊藤 准教授 7110室 内線 5241 | 空間情報演習室 719室 | 地盤工学演習室 718室 | 地盤工学研究室 峯岸 教授 山中 准教授 717室 内線 5217 |

- 2号館：舗装・地盤系実験室(201、202)……………内線5418
- 7号館：コンクリート・構造系実験室(704)……………内線5236
- 社会基盤工学系実験 建設材料系……………内線5216
- 地盤・舗装材料系……………内線5584

- 測量実習センター……………内線5322
- 駿河台校舎タワースコラ6階：交通システム工学科共通研究室(S611室)……………内線976
- ダイヤルイン 03-3259-0976

ダイヤルイン 047-469-(内線番号)

事務室 FAX：047-469-2581

令和6年度 修士論文・卒業研究

修士論文

自動二輪車の混入を考慮したラウンドアバウトの安全性に関する研究
—タイ・プリンスオブソンクラ大学内のラウンドアバウトを対象として—
指導：福田 敦教授 荒川翔吾

QZSS のセンチメートル級測位補強サービスによる静止測位解の時間変動特性に基づく点検方法の提案
指導：佐田達典教授 飯塚洗貴

奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキルの分析
—MaxEnt による生息適地を考慮して—
指導：伊東英幸教授 大森涼太

幹線道路の混雑状況からみた生活道路の交通事故発生状況に関する研究
指導：小早川 悟教授 岡本悠希

自動車のハイビーム点灯によるヤンバルクイナの交通事故削減効果の推計
—沖縄県道2号線を対象として—
指導：伊東英幸教授 笠木一樹

GNSS 非受信区間における MMS の測位安定度に関する研究
指導：佐田達典教授 加藤創大

駐車場入口における付加車線の設置が自動車交通流に与える影響に関する研究
—入庫車両の道路交通法遵守を考慮して—
指導：小早川 悟教授 加藤 裕

卒業研究

■ 移動空間デザイン研究室 (江守 央教授) ………
鉄道駅における車いす利用者の移動負担感の算出
—JR 蒲田駅を例として— 秋元亮祐

グリーンスローモビリティの運行が与える地域コミュニティへの影響について
—千葉県四街道市を対象として— 坂下 颯

テキストマイニングを用いた府中市まちづくりワークショップにおける意見の優先度分析 狩野真央

東京都を対象とした移動等円滑化促進地区の策定方法に関する分析 廣瀬 稔

中国都市部の免許返納制度に向けた高齢運転者の認知機能と免許返納意向の関係 王 悠陽

横荷重を受ける合成桁の荷重分担率に関する研究
指導：谷口 望教授 菅野允陽

バンコクの生活道路における交通安全対策としてのスピードハンプの設置に関する研究
指導：福田 敦教授 酒井大翔

グリーンスローモビリティのライフサイクルアセスメントによる低炭素性評価
—“eCOM-8²”を対象として—
指導：伊東英幸教授 佐藤航希

床版取り換えに適した鋼-コンクリート構造を用いた弾性合成桁に関する研究
指導：谷口 望教授 田中寛昌

粗骨材の遷移がコンクリートの諸性質に及ぼす影響
指導：谷口 望教授 班 鈞豪

踏切における飽和交通流率と時間損失に関する分析
指導：轟 朝幸教授 本間裕洋

深層強化学習を用いた右左折交通を含む単独交差点の信号現示最適化に関する研究
指導：轟 朝幸教授 山崎颯太

高速道路リニューアル工事における渋滞の発生プロセスに関する時空間的分析
指導：轟 朝幸教授 山田純也

【 】は共同論文指導
モバイル端末搭載 LiDAR を用いた屋内設備の3Dモデル作成に向けた点群データの精度評価 佐藤昇太

SfM を用いた屋外設備の三次元点群取得における360度カメラと一眼レフカメラの精度比較 石井弘哉

フォトグラメトリとモバイル端末搭載 LiDER を用いた屋外設備の3次元点群データの精度比較 吉澤佳祐

南・東側遮蔽環境下での RTK 測位における低コスト GNSS 受信機の利用可能性検証 大越遼太

低速度移動体の遮蔽環境下における低コスト GNSS 受信機の精度検証 石井海斗

低速度移動体の蛇行挙動計測を想定した低コスト GNSS 受信機の精度検証 折笠湧人

■ 運輸交通計画研究室 (轟 朝幸教授・吉岡慶祐 准教授)
VTOL (垂直離着陸機) の日本の離島における利用者ニーズ把握に関する研究 大城 岳

Bluetooth を活用した地域鉄道における OD 交通量推計精度向上のためのパラメータ検証 玉田駿太郎

ETC2.0プローブデータを用いた災害時の一般道路の交通実態分析
—令和元年台風15号の成田空港周辺を対象として— 西坂歩夢

千葉県における災害時の救援物資輸送にかかる所要時間の分析 坂田光太郎

日本のコンテナ港湾の背後圏及び効率性は取扱コンテナ数に影響しているのか?
—HHI と DEA を用いた分析— 管 健太郎

人流データによるふなばし三番瀬海浜公園の立入禁止区域における行動解析 渥美裕斗

信号交差点内における電動キックボードと他車両との交錯危険性の分析 星野幸信

一時停止交差点の主道路左折車両が交通容量に与える影響の数値シミュレーション解析 宮下虎丸

正十字ラウンドアバウトにおける方向別の走行軌跡の実態分析 伊藤樹生

データベースを活用したラウンドアバウト幾何構造設計海外比較 萩原悠翔

非混雑時旅行速度に着目した道路のサービス状況に関する一考察
—関東地方1都6県を対象として— 渡邊玖磨【下川澄雄】

閑散時における拠点間旅行速度に着目した道路サービスの質の現状と課題 和田知也【下川澄雄】

踏切における大型車の乗用車換算係数に関する研究 瀬川朋基【下川澄雄】

T字交差点における深層強化学習を用いた信号現示最適化に関する研究 矢口航大【桑原雅夫】

環境要因を考慮した生存確率に基づく高速道路付属施設の点検戦略に関する研究
—トンネルケーブルラックを対象として— 和田 翔【桑原雅夫】

■ 交通システム研究室 (福田 敦教授・石坂哲宏教授・菊池浩紀 助教) ……………
タイにおける交通事故の発生特性の把握 坪井駿太

小学校における交通安全教育の効果の計測
—船橋市の小学校を対象として— 土屋舞実

豊かな生活の実現に向けた住民が必要とする都市施設の把握 高井良梨央

公共交通ネットワークの違いによる都市機能施設へのアクセス性に関する分析 大森 翼

自動車依存の高い都市を対象としたネイバーフッドデザインの評価
—アラブ首長国連邦・ドバイを対象として— 竹内智哉

ドバイにおける電動配送二輪車への転換によるCO₂排出削減効果の推計 福島亜美

自動二輪車の混入率が高いラウンドアバウトにおける安全性向上に向けた対策の検討
—プリンス・オブ・ソンクラ大学キャンパス内を対象として— 中橋 萌

バンコクの生活道路におけるスピードハンプの設置状況と速度抑制効果の分析 橋爪陸人

タイの都市鉄道沿線におけるフィーダー交通事業の成立要件の検討 若井太一

スマートシティの実現に向けたロードマップに基づいたスマートモビリティのあり方の検討
—バンコク・バンサー地区を対象として— 伊藤誠悟

ドライビングレコーダーの映像から推定した追突余裕時間による危険事象の抽出 朝比奈優輝

ドライビングレコーダーの映像を用いた滞留長推定に関する基礎的研究 高橋奏登

道路の接続性を考慮したGCNによる一般道路の交通量の短期予測 加藤零王音

ビデオ観測と画像処理による歩行者横断開始判断に影響を与える事象のデータ化 宇佐美 諒

シミュレーションによる自動運転バスの右折特性を考慮した交差点遅れに関する分析 八木龍聖

世代間ギャップの提示による自動運転バスの期待度向上に関する研究
—日本大学三島高等学校の生徒を対象として— 山下堅太

| | |
|--|---|
| <p>■ 交通環境研究室 (伊東英幸 教授) ……………</p> <p>成田市のオンデマンド交通の利用実態分析 高 真銘</p> <p>デマンド交通の WEB 予約システム導入効果に関する研究 —千葉県富里市を対象として— 芦田耀大</p> <p>自動運転バスの導入によるシビックプライドの影響分析 —千葉県横芝光町を対象として— 鈴木雄大</p> <p>グリーンスローモビリティのボランティア活動による Well-Being の影響分析 —千葉市桜木地区を対象として— 角田智哉</p> <p>グリーンスローモビリティのライフサイクル CO₂排出量の分析 —e-COM8²を対象として— 高橋冨侑</p> <p>奄美大島におけるアマミノクロウサギの警戒標識設置による自動車の速度減少効果の推計 小宮寛明</p> <p>エゾシカの警戒標識設置による自動車の速度減少効果の推計 —国道36号を対象として— 五十嵐健悟</p> <p>自動車のハイビーム点灯によるヤンバルクイナの飛び出し防止効果の検証 —沖縄県道2号線を対象として— 濱中佑月</p> <p>高周波発生装置設置によるニホンジカの線路進入防止効果の検証 —若桜鉄道を対象として— 松井康輔</p> <p>MaxEnt を用いたヤンバルクイナの生息適地推計と交通事故分析 石橋一樹、来栖聖弥</p> <p>MaxEnt を用いた奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキルリスクの経年分析 中島拓未、平井雄理</p> <p>■ 空間情報研究室 (佐田達典 教授) ……………</p> <p>VRS における Galileo 衛星の選択に関する研究 野原浩平</p> <p>VRS における再初期化後の点検方法に関する検証 志村悠斗</p> <p>高層ビル街での移動体測位における CLAS と VRS の精度検証 中葦翔太</p> <p>QZSS が提供する CLAS の周辺地物の違いによる測位精度への影響の検証 岩尾周治</p> <p>樹木に近接した場所での CLAS 測位における衛星系の組合せ効果と Galileo 衛星の選択に関する検証 土屋諒真</p> | <p>CLAS における仰角マスクの影響に関する比較実験 小川大希</p> <p>地中レーダを用いた地下埋設物の3次元可視化に関する研究 下瀬川雄也</p> <p>MMS による橋梁下部からの上部工計測の精度検証 高山 拓</p> <p>MMS により計測した路面点群データにおける3種類のノイズ除去方法を用いたフィルタリング性能の比較 酒井奏岳</p> <p>非 GNSS 環境下を通過する飛行ルートが UAV レーザによる橋梁形状計測精度に及ぼす影響の検証 白河拓己</p> <p>基盤地図情報1mメッシュ標高値と UAV レーザ計測標高値との比較検証 山田 薫</p> <p>曲線部における鉄道空間計測用レーザスキャンシステムによる点群取得精度と寸法計測精度に関する研究 遠藤壮将</p> <p>MMS を用いた点群データによる街路建築物の3次元モデル作成 樋口伸平</p> <p>■ 交通計画研究室 (小早川 悟 教授・青山恵里 助教) …</p> <p>商店街に設置された駐輪場利用促進策の効果検証 —渋谷区幡ヶ谷六号通り商店街を対象として— 橋本悠也</p> <p>歩道上に放置された自転車の駐輪実態分析 —東京都渋谷区笹塚地区を対象として— 阿部雄基</p> <p>大規模小売店舗における駐車待ちスペースの算出式を用いた付加車線設置の影響分析 安東尚輝</p> <p>駐車場地域ルールによる地域貢献の実施実態に関する研究 大中 悠</p> <p>水害発生時の徒歩避難による避難場所に関する研究 堀越悠佑</p> <p>防災船着場と地域内輸送拠点に着目した軽貨物車による避難所までのアクセス性に関する研究 杉田楓馬</p> <p>都市計画マスタープラン作成に向けた物資流動調査のデータの活用に関する研究 米林 秀</p> <p>多車線道路の無信号横断歩道における乱横断の実態分析 阿部優都</p> |
|--|---|

| | |
|--|--|
| <p>時間帯別の幹線道路の混雑状況と生活道路への流入状況の分析 長島達也</p> <p>高速道路の暫定2車線区間における車両感知器データを用いた交通サービスの評価に関する研究 井上真登</p> <p>車間時間と占有時間に着目した飽和交通流率の経年変化に関する分析 中村明乃進</p> <p>大型車の混在を考慮した信号交差点の交通容量の算出方法に関する研究 市川 遼</p> <p>二輪車が卓越した道路における二輪車が四輪車の車尾時間に与える影響の分析 —タイのバンコク・コンケンを対象として— 五十嵐 誠</p> <p>信号交差点停止時の右折車線における車尾距離に関する研究 中井湜基</p> <p>■ 鉄道構造研究室 (谷口 望 教授) ……………</p> <p>コーンヘッドを有する鋼管杭接合部の耐荷力解析 —既存実験の再現解析— 木村光太郎</p> <p>コーンヘッドを有する鋼管杭接合部の耐荷力解析 —新構造の提案— 小田悠哉</p> <p>3次元効果を考慮したシールドトンネル立坑に対する設計検討 久保汰成</p> <p>斜角を有する鋼製門型橋脚の横梁・縦梁接合部の応力緩和手法に関する検討 池田唯人</p> <p>多主桁を有する SRC 桁における横桁の有無が応力分担性状に与える影響について 沼 慶拓</p> <p>多主桁を有する SRC 桁におけるスパン長が応力分担性状に与える影響について 棚村怜央</p> <p>曲線を有する鉄道橋におけるダイヤフラム構造の検証 岡本拓也</p> <p>曲線を有する鉄道橋における制振コンクリートの影響 藤井 馨</p> <p>柔ジベルを用いた合成桁のずれ挙動モデルの簡略化に関する研究 (正曲げ) 姜 文博</p> <p>柔ジベルを用いた合成桁のずれ挙動モデルの簡略化に関する研究 (負曲げ) 前澤拓生</p> <p>弾性合成桁における柔ジベルの発泡スチロール有無が剛性に与える影響 友井 秀</p> | <p>弾性合成桁に用いる柔ジベルの橋軸直角方向への影響に関する検討 稲江 旦</p> <p>ヒューズ機構を採用した高架橋に対する簡易解析モデルの構築とパラメトリックスタディ 軽部友介</p> <p>リベット接合部に発生する残留応力が耐荷力に与える影響 西村幸晟</p> <p>■ 地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 准教授) …</p> <p>敷砂層の凍結融解がブロック舗装の膨張特性と支持力特性に及ぼす影響 池谷拓海</p> <p>大版ブロック舗装に用いる強化板サイズが支持力特性と目地に及ぼす影響 山田羽翼</p> <p>ブロック系舗装を対象とした路面性状と歩きやすさの関係性 TANG ZIXUAN</p> <p>ブロック舗装の液状化被害とその考察 下田健太郎</p> <p>剛性載荷とたわみ性載荷による小型 FWD の現場計測結果の関係性 田中元樹</p> <p>レジリエントモデュラス試験の計測結果に及ぼす載荷時間の影響 星野友太郎</p> <p>発泡ビーズ混入軽量化土の周辺地盤における挙動 劉 家伊</p> <p>短繊維を混入させた関東ロームのせん断特性 劉 派臣</p> <p>溶融スラグを混合した再生砂の力学特性 斎藤太揮</p> <p>関東ロームの締固め特性に及ぼす細粒分含有率の影響 齋藤 匠</p> <p>補強土壁の壁面変位における地下水位の繰返し変化が地盤変状と壁面変位に及ぼす影響 玉木大裕</p> <p>スプレーを用いた表面強化不織布の新たな耐久性評価方法の検討 寺川陽喜</p> <p>大型土槽を用いたジオセル補強路盤の応力分散範囲および応力分散角度の検討 丹野光貴</p> <p>大型土槽を用いたジオセル補強路盤の応力低減効果に関する検討 谷口裕豊</p> |
|--|--|

令和6年度 教員・研究員の研究・活動 2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31

研究業績 2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31

発行元・掲載誌・会議名 題目・作品名・書名 教員名など 発表年月

移動空間デザイン研究室 (江守 央 教授)

| 発行元・掲載誌・会議名 | 題目・作品名・書名 | 教員名など | 発表年月 |
|---|--|--|--------|
| ■審査論文 | | | |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.29-40 | VRS 方式における複数衛星系併用による測位精度向上効果の検証 | 佐田達典 大野木華 田村悠太郎 江守 央 | 24年 8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.41-50 | 鉄道空間計測用レーザスキャンシステムによる模擬駅空間の点群取得範囲と寸法計測精度に関する検証 | 佐田達典 芦澤憂紀 正親優汰 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 江守 央 | 24年 8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.51-60 | 森林部における CLAS の測位特性に関する研究 | 高橋秀昌 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年 8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.83-93 | 位相差方式レーザスキャナを搭載した MMS でのトンネル走行計測時の調整点補正に関する研究 | 加藤創大 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 江守 央 | 24年 8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.95-105 | 標定点補正及び飛行条件による UAV レーザ計測を用いたトンネル内点群データの位置精度検証 | 加藤創大 日野原遼生 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 江守 央 | 24年 8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.179-190 | 低速度域における測量用 GNSS 受信機を基準とする低コスト GNSS 受信機の精度評価 | 井上義仁 田村悠太郎 江守 央 佐田達典 | 24年 8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.191-200 | 再初期化後の経過時間に伴う CLAS 測位解の安定性と高精度解として採用するエポックに関する研究 | 飯塚洗貴 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年 8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.201-208 | RTK 測位における低コスト GNSS 受信機の利用可能性検証 | 江守 央 小峰翔太 佐田達典 | 24年 8月 |
| ■口頭発表 | | | |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 小規模鉄道駅における 3D 駅構内図の作成に関する研究 | 田中颯汰 江守 央 佐田達典 古竹孝一 | 24年 9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 歩行者空間の移動体計測における低コスト GNSS 受信機の精度検証 | 井上義仁 江守 央 佐田達典 | 24年 9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | QZSS のセンチメートル級測位補強サービス CLAS における測位解の点検方法に関する検討 | 飯塚洗貴 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年 9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | QZSS の CLAS 測位における樹木および建物外壁の影響の比較 | 高橋秀昌 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年 9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | GNSS 衛星非受信区間での MMS と UAV レーザ計測による取得点群の位置精度比較 | 加藤創大 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 江守 央 | 24年 9月 |
| (一社)日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会 | 歩行者を対象としたブロック系舗装の歩きやすさと性能指標の関係 | 山中光一 江守 央 峯岸邦夫 | 24年 9月 |
| (一社)日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会 | まち歩き点検を想定したモバイル端末搭載 LiDAR による路面計測の可能性 | 江守 央 中村祐太 佐田達典 | 24年 9月 |
| (一社)日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会 | 低コスト GNSS 受信機を使用したハンドル型電動車椅子の挙動計測における利用可能性について | 井上義仁 江守 央 佐田達典 | 24年 9月 |
| (公社)土木学会 第70回土木計画学研究発表会 | 低コスト GNSS 受信機の道路空間における 移動体計測の利用可能性について | 井上義仁 江守 央 折笠湧人 | 24年11月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 遮蔽環境下での低速度移動体測位を想定した低コスト GNSS 受信機の精度検証 | 井上義仁 江守 央 石井海斗 折笠湧人 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 遮蔽環境での RTK 測位における低コスト GNSS 受信機の精度検証 | 大越遼太 江守 央 井上義仁 | 24年12月 |

| | | | |
|-------------------|--------------------------------------|------------------------|--------|
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 低速度移動体の蛇行挙動計測を想定した低コスト GNSS 受信機の精度検証 | 折笠湧人 江守 央 井上義仁 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 高層ビル街での走行実験における VRS 測位の衛星組合せ効果の検証 | 中基翔太 飯塚洗貴 江守 央 佐田達典 | 24年12月 |

運輸交通計画研究室 (轟 朝幸 教授・吉岡慶祐 准教授)

| | | | |
|--|---|---|--------|
| ■審査論文 | | | |
| Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies 15巻 pp.2067-2079 | Evaluation of E-Scooter and Automobile Driver's Perceived Safety and Comfort during Overtaking Based on Field Driving Tests | Keisuke Yoshikawa, Sumio Shimokawa, Junpei Kikkawa | 24年 6月 |
| Japanese Society for Engineering Education 工学教育 72巻 2号 pp.2_12-2_18 | 理工系学部の教学における COVID-19の影響 [1] —授業形態の変更と GPA の推移— | 中村文紀 渡部政行 大貫進一郎 木村元昭 轟 朝幸 高橋亮輔 青木義男 | 24年 6月 |
| ■口頭発表 | | | |
| (公社)土木学会 第69回土木計画学研究発表会 | Bluetooth のランダムマイズを考慮した 地域鉄道 OD 交通量推計システムの開発 | 西脇雅人 三木田龍一 兵頭 知 吉岡慶祐 轟 朝幸 古竹孝一 | 24年 5月 |
| (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 | 一時停止交差点の交通容量算出方法の海外比較と実測調査検証 | 吉岡慶祐 轟 朝幸 張 錦汐 | 24年 8月 |
| 1st Japan-China Symposium on Railway Technology | Origin-Destination Estimation Method for Regional Trains Using Bluetooth Observation Data | Nishiwaki M., Todoroki T., Hyodo S., Yoshioka K., Furutake K. | 24年 8月 |
| (公社)土木学会 第70回土木計画学研究発表会 | 基幹空港における風水害下でのバス代替輸送の可用性に関する検討 | 吉岡瑞貴 轟 朝幸 吉岡慶祐 | 24年11月 |
| (公社)土木学会 第70回土木計画学研究発表会 | ラウンドアバウトの環道およびエプロン幅員構成の海外比較 | 吉岡慶祐 萩原悠翔 轟 朝幸 | 24年11月 |
| ITS Japan 第22回 ITS シンポジウム | 深層強化学習を用いた単独交差点の信号現示最適化に関する研究 —右折専用現示を含む 4 現示制御での制御パラメータ検証— | 山崎颯太 桑原雅夫 吉岡慶祐 轟 朝幸 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 都内の信号交差点における電動キックボードの道路交通法改正前後の走行実態比較 | 星野幸信 吉岡慶祐 轟 朝幸 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | ラウンドアバウトの外径・環道・エプロン設置の海外比較 | 萩原悠翔 吉岡慶祐 轟 朝幸 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | HHI を用いた国内コンテナ港湾における背後圏と取扱貨物の特性に関する一考察 | 管健太郎 荒谷太郎 川崎智也 泊 尚志 轟 朝幸 吉岡慶祐 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 踏切における大型車の乗用車換算係数に関する研究 | 瀬川朋基 本間裕洋 下川澄雄 吉岡慶祐 轟 朝幸 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 閑散時における拠点間旅行速度の実態分析 | 和田知也 下川澄雄 吉岡慶祐 轟 朝幸 | 24年12月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 非混雑時旅行速度に着目した道路のサービス状況に関する一考察 —関東地方 1 都 6 県を対象として— | 渡邊玖磨 轟 朝幸 吉岡慶祐 下川澄雄 | 25年 3月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 閑散時における拠点間旅行速度に着目した道路サービスの現状と課題 | 和田知也 轟 朝幸 吉岡慶祐 下川澄雄 | 25年 3月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 踏切における大型車の乗用車換算係数に関する研究 | 瀬川朋基 轟 朝幸 吉岡慶祐 下川澄雄 | 25年 3月 |
| ■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等) | | | |
| 千葉テレビ 「道の日」スペシャル | 未来へ、幸せつなぐ「道」の進化を見に行こう! | 轟 朝幸 | 24年 8月 |
| ANA ホールディングス株式会社 ていくおふ | 何が起きても空港運用の継続を：真に実効性ある A2-BCP | 轟 朝幸 | 24年12月 |
| (公財)国際交通安全学会 IATSS Review 49巻 2号 | 日本のラウンドアバウトデータベースと Web 公開システムの開発 | 吉岡慶祐 奥城 洋 中村英樹 | 24年10月 |

交通システム研究室 (福田 敦 教授・石坂哲宏 教授・菊池浩紀 助教)

■審査論文

| | | | |
|--|---|---|--------|
| Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies 15巻 pp.573-584 | Analysis of Price Elasticity of Hanoi MRT Line 2A in Comparison with Manila MRT Line 3 and Jakarta MRT | Dinh Van Hiep, Kota Iwanami, Tran Manh Hung, Atsushi Fukuda, Alexis M Fillone | 24年 6月 |
| Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies 15巻 pp. 2091-2108 | Financial Analysis of the Impact of the Transport Capacity on the Profitability of the Railway Business in Bangkok | Kota Iwanami, Atsushi Fukuda | 24年 6月 |
| Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies 15巻 pp.2678-2692 | Traffic Performance Influenced by Motorbikes and Autorickshaws Under Heterogeneous Traffic Using UAVs | Tetsuhiro Ishizaka, Kazu Fujieada, Mohammed Asif Nawaz Shaik, Digvijay Sampath Pawar | 24年 6月 |
| 日本システム・ダイナミクス学会 システム・ダイナミクス 21巻 pp.17-33 | 日本における電気自動車の普及政策の評価に関する研究 | 柿島里香 菊池浩紀 福田 敦 | 24年 8月 |
| Asian Transport Studies 10巻 p.100145 | Adaptation measures to alleviate degradation of urban mobility by urban flooding in Ubon Ratchathani, Thailand | Noriyasu Tsumita, Hiroki Kikuchi, Sittha Jaensirisak, Guenter Emberger, Atsushi Fukuda | 24年 8月 |
| (公財)国際交通安全学会 IATSS Research 48巻 4号 pp.523-536 | Improving urban intersection safety insights from simulation analysis | Chaiwat Yaibok, Piyapong Suwanno, Thaksakorn Pornbunyanon, Chollada Kanjanakul, Paramet Luathep, Atsushi Fukuda | 24年11月 |
| Transportation Research Procedia Volume 82, pp.2216-2231 | Driving Behavior and the Aging Society: A Framework for Microsimulation Approach | Yoshihiko Hashino, Sideney Schreiner, Atsushi Fukuda | 25年 1月 |
| Asian Transport Studies 11巻 p.100155 | Can diffusion of telework after COVID-19 sustain shrinking cities? Simulation analysis using a dynamic land-use and transport model | Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda, Guenter Emberger | 25年 1月 |
| (一社)交通工学研究会 交通工学論文集 11巻 2号 pp.A_55-A_62 | 道路冠水の情報提供による迂回路選択に関する研究 | 石坂哲宏 清水敬仁 大川友也 岸紗也都 | 25年 2月 |
| (一社)交通工学研究会 交通工学論文集 11巻 2号 pp.A_235-A_243 | UAV 動画からの走行軌跡抽出に基づいた U ターン車両と対向車両の衝突リスク評価 | 中田吉紀 石坂哲宏 | 25年 2月 |
| Proceedings of the 7th International Conference of Transportation Research Group of India (CTRG 2023) Volume 3, pp.1-15 | Impact of Providing Autorickshaw Feeder Service and Booking and Payment Functions in Navigation Apps on CO ₂ Emission Reduction in Ahmedabad | Tetsuhiro Ishizaka, Shaik Mohammed, Asif Nawaz | 25年 2月 |
| ■口頭発表 | | | |
| The 1st International Conference on Environmental Design, Material Science, and Engineering Technologies | Evaluation of Impact of CO ₂ Emission Reductions by Multimodal Transport toward Designing Future Low-Carbon Society Using Dynamic Land Use and Transport Model | Hiroki Kikuchi, Noriyasu Tsumita, Atsushi Fukuda, Guenter Emberger, Tetsuhiro Ishizaka | 24年 4月 |
| The 1st International Conference on Environmental Design, Material Science, and Engineering Technologies | Designing Neighborhood Urban Form for Car-oriented Arabian Cities toward Realizing Sustainable Cities | Hiroki Kikuchi, Ahmet Basid Dogru, Ahmet Yildirim | 24年 4月 |
| The 1st International Conference on Environmental Design, Material Science, and Engineering Technologies | Challenge of Shared Mobility and Micro Mobility Service in Developing Countries to Provide Green and Reliable Transit System | Ahmet Basid Dogru, Hiroki Kikuchi, Mohamed Khaled Alsayed, Ahmet Yildirim | 24年 4月 |

| | | | |
|---|---|--|------------------|
| 7th International Conference of Contemporary Affairs in Architecture and Urbanism | Definition of X-minute City: Analysis of the Current Trends of Urban Policy Planning | Hiroki Kikuchi, Yasuyuki Okado, Atsushi Fukuda | 24年 5月 |
| The 29 National Convention on Civil Engineer | Comparisons of Road Safety Education in Primary Schools in Thailand and Japan | Sittha Jaensirisak, Rattanaporn Kaewklueklom, Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda, Tuenjai Fukuda | 24年 5月 |
| The 29 National Convention on Civil Engineer | Understanding of Traffic Accident Characteristics at Roundabouts in Thailand | Shogo Arakawa, Noriyasu Tsumita, Chaiwat Yaibok, Piyapong Suwanno, Paramet Luathep, Sittha Jaensirisak, Atsushi Fukuda | 24年 5月 |
| The 29 National Convention on Civil Engineer | Installation of Speed Humps and Bumps in Bangkok and Speed Analysis Using Probe Data | Hiroto Sakai, Atsushi Fukuda, Tuenjai Fukuda | 24年 5月 |
| The 17th ATRANS Annual Conference: Young Researcher's Forum 2024 | Safety Analysis Based on Vehicle Trajectories in Roundabout -The Case Study of the Prince of Songkla University Roundabout- | Noriyasu Tsumita, Shogo Arakawa, Paramet Luathep, Atsushi Fukuda | 24年 8月 |
| The 17th ATRANS Annual Conference: Young Researcher's Forum 2024 | Fundamental Analysis of Awareness for Electric Vehicles in Japan | Hiroki Kikuchi, Atsushi Fukuda, Rika Kakishima | 24年 8月 |
| (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 | タイのラウンドアバウトにおける車両の走行軌跡を用いた安全性の分析 —プリンスオブソンクラ大 学内のラウンドアバウトを対象として— | 荒川翔吾 積田典泰 福田 敦 | 24年 8月 |
| (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 | UAV 動画からの走行軌跡抽出に基づいた U ターン車両と対向車両の衝突リスク評価 道路冠水の情報提供による迂回路選択に関する研究 | 中田吉紀 石坂哲宏 | 24年 8月 |
| 日本環境共生学会 第27回学術大会 | 都市洪水頻発地域における移転意向の実態分析 —タイ・ウボンラチャタニ市を対象として— | 石坂哲宏 清水敬仁 大川友也 岸紗也都 積田典泰 | 24年 8月 24年 9月 |
| European Transport Conference 2024 | Analysis of Policy Impact on Diffusion of Next-Generation Vehicles Toward Decarbonized Society in Japan | Hiroki Kikuchi, Rika Kakishima, Atsushi Fukuda | 24年 9月 |
| (公社)土木学会 第70回土木計画学研究発表会 | 洪水発生時におけるモビリティを確保するための住民移転政策実施の可能性の評価 —タイ・ウボンラチャタニ市を対象として— | 積田典泰 Kaewklueklom Rattanaporn, Jaensirisak Sittha, 福田 敦 | 24年11月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | バンコク市内におけるスピードハンプにおける損傷による車両挙動の分析 | 渡邊柊介 高波 薫 酒井大翔 片岡航太 本美和祐 和田 司 ニヨンサバ順サンゴボネ 深山裕叶 大木颯斗 上村直太郎 福田 敦 石坂哲宏 南 晴貴 菅野拓海 | 24年12月 |
| 日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター 第 5 回学生研究発表会 | バンコクの生活道路における交通安全対策としてのスピードハンプの設置に関する研究 | 酒井大翔 福田 敦 | 25年 2月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | タイの生活道路におけるスピードハンプの設置状況と速度抑制効果に関する研究 | 橋爪陸人 酒井大翔 福田 敦 | 25年 3月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 公共交通ネットワークの違いによる都市機能施設へのアクセス性に関する分析 | 大森 翼 菊池浩紀 福田 敦 石坂哲宏 | 25年 3月 |

| | | | |
|---|--|---|--------|
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | タイ・バンコク市内の生活道路における道路幅とスピード ハンブの損傷が車両速度に与える影響に関する研究 | 高波 薫 渡邊柗介 酒井大翔 福田 敦 石坂哲宏 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | シミュレーションによる自動運転バスの右折特性を考慮し た交差点遅れ時間に関する分析 | 八木龍聖 石坂哲宏 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | ドラレコ映像からTTCの推定による衝突危険性の評価 | 朝比奈優輝 石坂哲宏 | 25年3月 |
| ■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等） | | | |
| (一社)計画・交通研究会 会報2024年9月号 p.16 | ネイチャーポジティブの中を進んでいくために | 石坂哲宏 | 24年9月 |
| (一社)計画・交通研究会 会報2024年11月号 pp.1-8 | 水辺空間をいかしたまちづくり | 八木龍聖 他 | 24年11月 |
| 交通環境研究室（伊東英幸 教授・末次優花 助手） | | | |
| ■口頭発表 | | | |
| 日本景観生態学会 第34回全国大会 | 鳥取県中西部におけるロードキル発生要因の一考察 | 末次優花 | 24年6月 |
| 環境アセスメント学会 第23回大会 | 奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキルの発生 要因分析 | 大森涼太 伊東英幸 末次優花 | 24年8月 |
| 環境アセスメント学会 第23回大会 | メガソーラー設置前後における鳥類の出現状況の比較 —鳥取県立大山オオタカの森を事例として— | 末次優花 田中一郎 日置佳之 伊東英幸 | 24年8月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | Bluetooth スキャナを用いた歩行者交通量の推定 —下田市のまちじゅう図書館社会実験前後を対象として— | 松本考邦 伊東英幸 五味悠一郎 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 千葉県桜木地域におけるグリーンスローモビリティ導入に よる CO ₂ 削減量の推計 | 山口 慶 伊東英幸 | 24年9月 |
| 日本環境共生学会 第27回学術大会 | 奄美大島におけるアマミノクロウサギのロードキル発生要 因の分析 | 大森涼太 伊東英幸 末次優花 | 24年9月 |
| 日本環境共生学会 第27回学術大会 | 鳥取県中西部における国道9号の一般道とバイパス道路の ロードキル発生状況の比較 | 末次優花 伊東英幸 | 24年9月 |
| The 14th Conference of International Consortium of Landscape and Ecological Engineering | Study on ecological paths for conservation of the spawning environment of semi-terrestrial crabs and horseshoe crabs | Hayato Hasegawa, Yuka Suetsugu, Tomomi Sudo, Keitaro Ito, Fumio Ohara, Takahiro Ohara, Tomonori Kandori, Yuji Tobuse | 24年10月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 千葉市都賀の台地区におけるグリーンスローモビリティ 「おさんぽバス」の利用実態分析 | 石橋優希 小野見徳 笠嶋秀太 勝部奏太 川上昂祐 廣瀬イサマル 右田一洗 長島健太 | 24年12月 |
| 第24回「野生生物と交通」研究発表会 | 自動車のハイビーム点灯によるヤンバルクイナの交通事故 削減数の推計 —事故多発期間における沖縄県道2号線を対象として— | 笠木一樹 濱中佑月 伊東英幸 末次優花 向真一郎 黒田ゆうび | 25年2月 |
| ■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等） | | | |
| 株式会社広域高速ネット二九六 296ニュース | まるとと富里表彰式 | 交通環境研究室 | 24年7月 |
| 株式会社広域高速ネット二九六 296ニュース | 日大生が公共交通計画施策提案 | 交通環境研究室 | 24年12月 |
| 日本大学新聞 | 先生教えて「リニア中央新幹線」 | 伊東英幸 | 25年1月 |
| 空間情報研究室（佐田達典 教授・積田典泰 助手） | | | |
| ■著書 | | | |
| (公社)日本測量協会 | 実務者のためのGNSS測量ハンドブック | 佐田達典 (supervisor) | 25年1月 |
| ■審査論文 | | | |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.29-40 | VRS方式における複数衛星系併用による測位精度向上効果 の検証 | 佐田達典 大野木華 田村悠太郎 江守 央 | 24年8月 |

| | | | |
|---|---|---|-------|
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.41-50 | 鉄道空間計測用レーザスキャンシステムによる模擬駅空間 の点群取得範囲と寸法計測精度に関する検証 | 佐田達典 芦澤憂紀 正親優汰 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 江守 央 | 24年8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.51-60 | 森林部におけるCLASの測位特性に関する研究 | 高橋秀昌 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.83-93 | 位相差方式レーザスキャナを搭載したMMSでのトンネル 走行計測時の調整点補正に関する研究 | 加藤創大 岡本直樹 佐田達典 岩上弘明 佐田達典 江守 央 | 24年8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.95-105 | 標定点補正及び飛行条件によるUAVレーザ計測を用いた トンネル内点群データの位置精度検証 | 加藤創大 日野原達生 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 | 24年8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.179-190 | 低速度域における測量用GNSS受信機を基準とする低コス トGNSS受信機の精度評価 | 井上義仁 田村悠太郎 江守 央 佐田達典 | 24年8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.191-200 | 再初期化後の経過時間に伴うCLAS測位解の安定性と高精 度解として採用するエポックに関する研究 | 飯塚洗貴 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年8月 |
| (公社)日本測量協会 応用測量論文集 35巻 pp.201-208 | RTK測位における低コストGNSS受信機の利用可能性検証 | 江守 央 小峰翔太 佐田達典 | 24年8月 |
| (公社)土木学会 土木学会論文集特集号（土木情報学） 81巻22号 | Lidar SLAM装置搭載車両の走行速度と点群マッチング範 囲が自己位置推定精度に及ぼす影響評価 | 佐田達典 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 内藤文登 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 土木学会論文集特集号（土木情報学） 81巻22号 | GNSS受信機によるVRS測位とDMIによる走行距離計測 に連動した地中レーダによる埋設管と空洞の位置検出の精 度評価 | 佐田達典 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 福井巧海 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 土木学会論文集特集号（土木情報学） 81巻22号 | QZSSが提供するCLASの測位解の時間変化特性と測位解 の点検方法に関する検討 | 飯塚洗貴 佐田達典 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 土木学会論文集特集号（土木情報学） 81巻22号 | GNSS非受信区間における走行条件に応じたMMSの測位 安定度に関する研究 | 加藤創大 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 土木学会論文集特集号（土木情報学） 81巻22号 | MMSの直進時と旋回時に取得される3次元点群の比較と GNSSの組合せの影響に関する実証的検証 | 高橋秀昌 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 | 25年3月 |
| ■口頭発表 | | | |
| (公社)日本測量協会 令和6年度関東支部業務報告会講演会 | 技術者としての基礎力養成を目指した大学での測量教育の 取り組み | 佐田達典 | 24年7月 |
| (一社)日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会 | まち歩き点検を想定したモバイル端末搭載LiDARによる 路面計測の可能性 | 江守 央 中村祐太 佐田達典 | 24年9月 |
| (一社)日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会 | 低コストGNSS受信機を使用したハンドル型電動車椅子の 挙動計測における利用可能性について | 井上義仁 江守 央 佐田達典 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 歩行者空間の移動体計測における低コストGNSS受信機の 精度検証 | 井上義仁 江守 央 佐田達典 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | GNSS衛星非受信区間でのMMSとUAVレーザ計測によ る取得点群の位置精度比較 | 加藤創大 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 江守 央 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | QZSSのCLAS測位における樹木および建物外壁の影響の 比較 | 高橋秀昌 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | QZSSのセンチメートル級測位補強サービスCLASにおける 測位解の点検方法に関する検討 | 飯塚洗貴 田村悠太郎 佐田達典 江守 央 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 地中レーダとVRS測位を用いた埋設管と空洞の位置検出 の精度評価 | 佐田達典 福井巧海 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 小規模鉄道駅における3D駅構内図の作成に関する研究 | 田中颯汰 江守 央 佐田達典 古竹孝一 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第49回土木情報学シンポジウム | MMSのトンネル走行時におけるGNSS/IMUの測位安定 度に関する研究 | 加藤創大 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 | 24年9月 |

| | | | |
|---|---|--------------------------------------|--------|
| (公社)土木学会 第49回土木情報学シンポジウム | QZSSのCLASにおける再初期化後の点検方法に関する検討 | 飯塚洸貴 佐田達典 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第49回土木情報学シンポジウム | MMSにおけるGNSSの組合せが直線部と旋回部の点群に及ぼす影響の検証 | 高橋秀昌 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第49回土木情報学シンポジウム | GNSS受信機と車速センサを備えた地中レーダによる埋設管と空洞の位置検出の精度評価 | 佐田達典 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 福井巧海 | 24年9月 |
| (公社)土木学会 第49回土木情報学シンポジウム | Lidar SLAM装置を搭載した車両の走行速度が自己位置推定精度に及ぼす影響評価 | 佐田達典 山口裕哉 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 内藤丈登 | 24年9月 |
| (一社)日本写真測量学会 令和6年度秋季学術講演会 | 森林部におけるCLASのFloat解の有用性に関する研究 | 高橋秀昌 佐田達典 | 24年11月 |
| (一社)日本写真測量学会 令和6年度秋季学術講演会 | CLASとVRSにおける再初期化後の測位解の時間変化の比較 | 飯塚洸貴 志村悠斗 佐田達典 | 24年11月 |
| (一社)日本写真測量学会 令和6年度秋季学術講演会 | MMSの路面点群データにおけるノイズ除去法を用いた路面抽出方法の提案 | 酒井奏岳 佐田達典 室井和弘 本郷恵莉 岩上弘明 | 24年11月 |
| (一社)日本写真測量学会 令和6年度秋季学術講演会 | スマートフォンに装着したGNSS受信機によるネットワーク型RTK測位の精度評価 | 佐田達典 | 24年11月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | QZSSのCLASにおける再初期化後の測位解の特性に関する基礎的な検証 | 飯塚洸貴 佐田達典 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | VRS固定観測におけるGalileo衛星の選択に関する研究 | 野原浩平 佐田達典 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 地中レーダの縦断方向計測に対する斜め方向計測による精度比較 | 下瀬川雄也 室井和弘 本郷恵莉 岩上弘明 佐田達典 積田典泰 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | MMSによる橋梁下部からの上部工下面計測の寸法精度検証 | 高山拓 室井和弘 本郷恵莉 岩上弘明 佐田達典 加藤創大 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | ToF方式レーザスキャナを搭載したMMSにより計測した路面点群データにおけるRANSACで推定される平面の精度検証 | 酒井奏岳 室井和弘 本郷恵莉 岩上弘明 佐田達典 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | UAVレーザによる橋梁点群データとVRSによる地上検証点座標及び橋梁実測寸法との比較検証 | 白河拓己 室井和弘 本郷恵莉 岩上弘明 佐田達典 加藤創大 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 鉄道空間計測用レーザスキャンシステムによる模擬プラットフォームの断面点群比較 | 遠藤壮将 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 衛星非受信区間でのMMSによる取得点群の位置精度比較 | 加藤創大 岡本直樹 室井和弘 岩上弘明 佐田達典 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 高層ビル街での走行実験におけるVRS測位の衛星組合せ効果の検証 | 中墓翔太 飯塚洸貴 江守央 佐田達典 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 樹木に隣接した場合のCLAS測位における衛星の組み合わせ効果の検証 | 土屋諒真 佐田達典 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | VRSにおける再初期化後の点検方法に関する検討 | 志村悠斗 飯塚洸貴 佐田達典 | 24年12月 |
| 交通計画研究室 (小早川 悟 教授・青山恵里 助教) | | | |
| ■審査論文 | | | |
| (一社)交通工学研究会 交通工学論文集11巻2号 pp.A_100-A_108 | 駐車場出入口における交通特性および錯綜事象に関する研究 | 田部井優也 辰巳 浩 小早川悟 | 25年1月 |
| (公社)土木学会 第69回土木計画学研究発表会 | 無信号交差点の流入交通及び構造が幹線道路の旅行速度に与える影響の分析 | 河本直志 土肥 学 松本幸司 青山恵里 茂田健吾 | 24年5月 |
| (公社)土木学会 第69回土木計画学研究発表会 | 信号交差点の飽和交通流率に関する経年変化の実態分析 | 青山恵里 鈴木裕太 下川澄雄 | 24年5月 |

| | | | |
|---|---|--|--------|
| 17th ATRANS ANNUAL CONFERENCE: YOUNG RESEARCHER'S FORUM | An Analysis of Secular Change of Headway at Signalized Intersection in Japan | Eri Aoyama, Sumio Shimokawa, Akenoshin Nakamura, Satoru Kobayakawa | 24年8月 |
| (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 | 観光道路の信号交差点における飽和交通流率の実態分析 | 青山恵里 青山直暉 下川澄雄 | 24年8月 |
| (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 | 駐車場出入口における危険事象に関する研究 | 田部井優也 辰巳 浩 小早川悟 | 24年8月 |
| (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 | ネットワーク解析を用いた徒歩避難に関する研究 | 玉河 凌 小早川悟 積田典泰 | 24年8月 |
| (一社)交通工学研究会 第44回交通工学研究発表会 | 水害発生時の救援物資輸送のための無人航空機の必要台数の算出 —東京都荒川区を対象として— | 神谷伊織 小早川悟 | 24年8月 |
| (公社)土木学会 第70回土木計画学研究発表会 | 平均旅行速度が遅い幹線道路における生活道路の事故発生状況に関する研究 | 岡本悠希 小早川悟 青山恵里 積田典泰 | 24年11月 |
| (公社)土木学会 第70回土木計画学研究発表会 | 駐車場出入口における付加車線設置が交通流に与える影響分析 | 加藤 裕 小早川悟 田部井優也 青山恵里 積田典泰 | 24年11月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 大型車の混在を考慮した信号交差点の交通容量の算出方法に関する研究 | 市川 遼 青山恵里 小早川悟 下川澄雄 | 24年12月 |
| 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 車間時間と占有時間の変化に着目した飽和交通流率の経年変化に関する分析 | 中村明乃進 青山恵里 小早川悟 下川澄雄 | 24年12月 |
| The 28th International Conference of Hong Kong Society for Transportation Studies | Analysis Of Pedestrian Crossing Behaviors At Unsignalized Crosswalks On Four-Lane Bidirectional Roads | Masahiro Yoshimura, Satoru Kobayakawa, Noriyasu Tsumita | 24年12月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 軽貨物自動車を活用した避難所への救援物資配送の可能性に関する研究 | 神谷伊織 小早川悟 青山恵里 杉田楓馬 | 25年3月 |
| ■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等) | | | |
| (公財)国際交通安全学会 IATSS Review 49巻1号 | 時代の変化と都市交通計画 | 小早川悟 | 24年6月 |
| 鉄道構造研究室 (谷口 望 教授・齊藤準平 准教授・飯田 樹 助手) | | | |
| ■著書 | | | |
| 理工図書株式会社 | 基礎から実践 構造力学(担当範囲: 4章, 5章, 7章) | 大垣賀津雄 大山 理 石川敏之 谷口 望 宮下 剛 | 24年4月 |
| (公社)土木学会 | 2024年度制定 複合構造標準示方書 | 複合構造委員会複合構造標準示方書改訂小委員会 | 25年3月 |
| ■審査論文 | | | |
| The 2nd International Engineering Expo, and 50th National Convention and Technical Conference | INTRODUCTION IN CIVIL ENGINEERING EDUCATION OF LESSONS LEARNED FROM HISTORICAL FAILURES OF SUSPENSION BRIDGES WORLDWIDE | Michio Saitoh, Nozomu Taniguchi | 24年10月 |
| The 18th East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC-18) | Consideration of bridge failure based on the main factors of modern the suspension bridge collapses and accidents | Michio Saitoh, Nozomu Taniguchi, Koichiro Shitama, Mutsumi Miyagawa | 24年11月 |
| The 18th East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC-18) | Stress Sharing Between The Slab And Main Girder For Lateral Loads In Road Bridges | Yoshiharu Kanno, Nozomu Taniguchi, Takeshi Terada, Kazufumi Koguchi, Michio Saitoh | 24年11月 |
| (公社)日本工学教育協会 工学教育72巻6号 pp.57-62 | 構造物の設計教育における橋梁設計用ソフトウェア導入の有効性 | 齊藤準平 | 24年11月 |
| (公社)土木学会 インフラメンテナンス実践研究論文集 4巻1号 pp.1-10 | コンクリート道路橋における交通状況に伴う健全度低下を潜在化させる気象要素とその条件 | 齊藤準平 | 25年2月 |

■口頭発表

| | | | |
|---|---|--|--------------------------------|
| 日本学術会議土木工学・建築学委員会 第70回構造工学シンポジウム | 全国の道路橋の健全度に影響を与える地理・気象条件・交通状況の要因分析 | 齊藤準平 | 24年4月 |
| (公社)土木学会関西支部 安価で確実な鋼橋の長寿命化対策に関する調査研究委員会 (第169回鋼橋マネジメント研究会) | ヒューズ機構を有する鉄道用仮橋脚構造の提案と大規模地震に対する耐震性評価に関する研究 | 関口 穂 飯田 樹 谷口 望 | 24年8月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 鋼合成鉄桁橋における水平補剛材の取付け位置の検討 | 矢野将太 三谷昂大 | 谷口 望 塚原雄介 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 二重鋼管柱にヒューズ機構を配置した鉄道高架橋の提案 | 飯田 樹 谷口 望 | 小林 薫 関口 穂 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 抵抗係数に関する既往文献の調査結果に関する一報告 | 浅野文佳 萩原裕樹 嘉瀬木曾ルカスジュン 三谷昂大 | 後藤源太 秋山慎一郎 谷口 望 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 横荷重作用時の合成桁床版における荷重分担率に対する材料非線形性の影響 | 菅野允陽 寺田武志 | 谷口 望 小口一文 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 曲線橋における床版と鋼桁の合成作用が床版に及ぼす影響について | 三谷昂大 渡邊 史 野本竜成 | 安岡和宏 斉木 功 谷口 望 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 曲線橋における床版と鋼桁の合成作用がずれ止めに及ぼす影響について | 安岡和宏 渡邊 史 野本竜成 | 三谷昂大 斉木 功 谷口 望 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 部分係数設計法を導入した道路橋示方書と鉄道構造物等設計標準による照査値の比較 | 久保武明 | 谷口 望 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 連続合成桁における逐次合成の必要性検討 | 関口 穂 久保武明 | 谷口 望 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 床版取り換えに適した鋼-コンクリート構造を用いた弾性合成桁に関する研究 | 田中寛昌 | 谷口 望 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | トンネル立坑の形状が応答値に与える影響 | 高野 魁 勅使川原敦 谷口 望 | 金巻哲史 久保武明 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 3次元解析を用いた矩形立坑の設計手法に関する基礎検討 | 金巻哲史 勅使川原敦 谷口 望 | 高野 魁 24年9月 |
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 二重鋼管柱にヒューズ機構を配置した鉄道高架橋の提案 | 飯田 樹 谷口 望 | 小林 薫 関口 穂 24年9月 |
| (一社)日本鉄鋼連盟 第2回鋼構造を語る会 | 床版取り換えに適した鋼-コンクリート構造を用いた弾性合成桁に関する研究 | 田中寛昌 | 谷口 望 24年9月 |
| (一社)日本鉄鋼連盟 第2回鋼構造を語る会 | 横荷重作用時における合成桁の荷重分担率に関する研究 | 菅野允陽 | 谷口 望 24年9月 |
| (一社)日本鉄鋼連盟 第2回鋼構造を語る会 | 振動締め時間が異なるコンクリートの圧縮強度および超音波速度 | 班 鈞豪 | 谷口 望 24年9月 |
| (一社)日本鉄鋼連盟 第2回鋼構造を語る会 | 柔ジベルを用いた合成桁の限界状態に関する検討 | 楊 銘宇 | 谷口 望 24年9月 |
| The 2nd International Engineering Expo, and 50th National Convention and Technical Conference | INTRODUCTION IN CIVIL ENGINEERING EDUCATION OF LESSONS LEARNED FROM HISTORICAL FAILURES OF SUSPENSION BRIDGES WORLDWIDE | Michio Saitoh, Nozomu Tniguchi | 24年10月 |
| The 18th East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC-18) | Consideration of bridge failure based on the main factors of modern the suspension bridge collapses and accidents | Michio Saitoh, Nozomu Taniguchi, Koichiro Shitama, Mutsumi Miyagawa | 24年11月 |
| The 18th East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction (EASEC-18) | Stress Sharing Between The Slab And Main Girder For Lateral Loads In Road Bridges | Yoshiharu Kanno, Nozomu Taniguchi, Takeshi Terada, Kazufumi Koguchi, Michio Saitoh | 24年11月 |

| | | | |
|-----------------------------|---|--------------|-------|
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 床版の交換に対応した鋼-コンクリート構造による弾性合成桁に関する研究 | 田中寛昌 谷口 望 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 柔ジベルを用いた合成桁の限界状態に関する検討(負曲げ) | 楊 銘宇 谷口 望 | 25年3月 |
| (公社)土木学会 第52回関東支部技術研究発表会 | 構造解析による圧縮応力作用時のコンクリートの骨材周辺のみずみに関する基礎的検討 | 齊藤準平 | 25年3月 |

■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

| | | | |
|---------|----------------------|----------------------------------|--------|
| 鋼橋技術研究会 | 鋼橋の性能設計手法に関する検討部会報告書 | 鋼橋の性能設計手法に関する検討部会 (部会長: 谷口 望) | 24年11月 |
|---------|----------------------|----------------------------------|--------|

地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 准教授)

■著書

| | | | |
|-----------|----------|----------------------|-------|
| (公社)地盤工学会 | 交通地盤工学入門 | 石川達也 山中光一 他25名 | 25年3月 |
|-----------|----------|----------------------|-------|

■審査論文

| | | | |
|---|-----------------------------|--------------|----------------|
| 国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 39巻 pp.128-134 | ジオセルを用いた補強路盤の路盤厚算定式提案に関する研究 | 平野皓大 山中光一 | 峯岸邦夫 24年12月 |
|---|-----------------------------|--------------|----------------|

| | | | |
|---|-------------------------------------|--------------|---------------|
| (公社)土木学会 土木学会論文集 E1 (舗装工学) Vol.80, No.21 | 小型 FWD 装置による大版ブロック舗装の支持力および路盤支持力の検討 | 山中光一 柳沼宏始 | 峯岸邦夫 25年3月 |
|---|-------------------------------------|--------------|---------------|

■口頭発表

| | | | |
|-------------------------|----------------------------------|--------------|---------------|
| (公社)土木学会 第29回舗装工学講演会 | 小型 FWD を用いたサイズの異なる大版ブロック舗装の支持力特性 | 山中光一 柳沼宏始 | 峯岸邦夫 24年8月 |
|-------------------------|----------------------------------|--------------|---------------|

| | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------|---------------|
| (一社)日本福祉のまちづくり学会 第27回全国大会 | 歩行者を対象としたブロック系舗装の歩きやすさと性能指標の関係 | 山中光一 | 江守 央 24年9月 |
|------------------------------|--------------------------------|------|---------------|

| | | | |
|-------------------------|-----------------------|--------------|---------------|
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | ジオセル補強路盤の応力分散範囲に関する検討 | 平野皓大 山中光一 | 峯岸邦夫 24年9月 |
|-------------------------|-----------------------|--------------|---------------|

| | | | |
|-------------------------|--|--------------|---------------|
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 透水性舗装のフィルター層に用いるジオテキスタイルの透水性能に及ぼす試料方向の影響 | 孫 逸航 山中光一 | 峯岸邦夫 24年9月 |
|-------------------------|--|--------------|---------------|

| | | | |
|-------------------------|------------------------------|--------------|---------------|
| (公社)土木学会 第79回年次学術講演会 | 剛性載荷とたわみ性載荷による小型 FWD 測定結果の比較 | 山中光一 柳沼宏始 | 峯岸邦夫 24年9月 |
|-------------------------|------------------------------|--------------|---------------|

| | | | |
|------------------------------------|------------------------|------------------------------|--------|
| (公社)地盤工学会 第3回交通地盤工学に関する国内シンポジウム | ブロック系舗装に用いる As 系砂の物理特性 | 孫 逸航 山中光一 峯岸邦夫 柳沼宏始 | 24年11月 |
|------------------------------------|------------------------|------------------------------|--------|

| | | | |
|------------------------------------|--------------------------------|--------------|----------------|
| (公社)地盤工学会 第3回交通地盤工学に関する国内シンポジウム | ジオセル補強路盤の応力分散範囲および応力低減効果に関する検討 | 平野皓大 山中光一 | 峯岸邦夫 24年11月 |
|------------------------------------|--------------------------------|--------------|----------------|

| | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------|-----------------|
| (公社)地盤工学会 第3回交通地盤工学に関する国内シンポジウム | 路床土を対象としたレジリエントモデュラス試験の測定結果に関する一考察 | 山中光一 峯岸邦夫 | 星野友太郎 24年11月 |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------|-----------------|

| | | | |
|------------------------------------|-----------------------|--------------|----------------|
| (公社)地盤工学会 第3回交通地盤工学に関する国内シンポジウム | 表面強化不織布の新たな耐久性評価方法の検討 | 寺川陽喜 山中光一 | 峯岸邦夫 24年11月 |
|------------------------------------|-----------------------|--------------|----------------|

| | | | |
|------------------------------------|--------------------|----------------------|----------------|
| (公社)地盤工学会 第3回交通地盤工学に関する国内シンポジウム | 版画による表面強化不織布の耐久性評価 | 平野皓大 山中光一 寺川陽喜 | 峯岸邦夫 24年11月 |
|------------------------------------|--------------------|----------------------|----------------|

| | | | |
|------------------------------------|---------------------|--------------|----------------|
| (公社)地盤工学会 第3回交通地盤工学に関する国内シンポジウム | ジオセルを用いた補強地盤の応力低減効果 | 谷口裕豊 山中光一 | 峯岸邦夫 24年11月 |
|------------------------------------|---------------------|--------------|----------------|

| | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|--------------|----------------|
| (公社)地盤工学会 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 盛土内に敷設した排水材の集水挙動に及ぼす敷設間隔の影響 | 平野皓大 山中光一 | 峯岸邦夫 24年12月 |
|--------------------------------|-----------------------------|--------------|----------------|

| | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-----------------------|--------|
| (公社)地盤工学会 第68回日本大学理工学部学術講演会 | 路床土を対象としたレジリエントモデュラス試験の測定結果に関する一考察 | 星野友太郎 山中光一 峯岸邦夫 | 24年12月 |
|--------------------------------|------------------------------------|-----------------------|--------|

■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)

| | | | |
|------------------|------------------------------------|----------------------|-----------------------|
| 建設図書 舗装60巻 1号 | 路床における小型 FWD 試験の接地圧分布と載荷時間を考慮した順解析 | 齋藤賢人 山中光一 竹内 康 | 山本尚毅 川名 太 25年1月 |
|------------------|------------------------------------|----------------------|-----------------------|

社会的活動

2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31

■石坂哲宏 教授

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 委員

(公社)土木学会 国際学術交流基金管理委員会 幹事長

(一社)交通工学研究会 事業委員会 委員

(一社)交通工学研究会 広報小委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 タスクフォース2 委員

(一社)交通工学研究会 JSTE シンポジウム運営小委員会 委員

(一社)計画・交通研究会 企画委員会 委員

(一社)計画・交通研究会 幹事会 副幹事長

(独法)都市再生機構 工事中交通マネジメント研究ワーキング委員会

(特非)横断型基幹科学技術研究団体連合 第15回横幹連合コンファレンス プログラム委員会 委員

日本自動車連盟(JAF) 千葉支部交通安全実行委員会 委員

日本システム・ダイナミクス学会 理事

Eastern Asia Society for Transportation Studies, International Scientific Committee, Committee Member

青梅市 公共交通協議会 委員

久喜市 地域公共交通会議 委員

松戸市 交通ビッグデータ見える化協議会 副会長

松戸市 交通ビッグデータ対策部会 部会長

■伊東英幸 教授

(公社)土木学会 関東支部企画部会 幹事

環境アセスメント学会 常務理事

環境アセスメント学会 若手研究会 会長

環境アセスメント学会 第23回大会実行委員会 委員

環境アセスメント学会 企画委員会 委員

環境アセスメント学会 企画委員会アセス検定WG 委員

環境アセスメント学会 企画委員会小冊子WG 委員

環境アセスメント学会 学術委員会 委員

環境アセスメント学会 生態系研究部会 委員

環境アセスメント学会 表彰委員会 委員

日本環境共生学会 理事

日本環境共生学会 学術・研究委員会 委員

日本環境共生学会 環境共生推進小委員会 委員

日本環境共生学会 国際化タスクフォース 主査

日本システム・ダイナミクス学会 理事(事務局長)

International Journal of GEOMATE (Geotechnique, Construction Materials and Environment), Review Board Member

国土交通省 千葉北西連絡道路地元検討会 委員

国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 総合評価審査分科会 委員

千葉県 環境審議会 委員

千葉県 環境審議会大気環境部会 委員

千葉県 自動車排出窒素酸化物総量削減計画等策定協議会 委員

山梨県 環境影響評価等技術審議会 委員

山梨県 太陽光条例環境及び景観に及ぼす影響の評価等アドバイザー 委員

千葉市 地域公共交通部会 副部会長

船橋市 自然環境調査検討委員会 委員

成田市 地域公共交通網形成協議会 委員

成田市 地域公共交通網形成協議会 交通事業分科会 会長

柏市 交通政策審議会 委員

柏市 地域公共交通部会 委員

柏市 開発事業等紛争調停委員会 委員

富里市 地域公共交通会議 副部会長

富里市 地域公共交通計画策定支援業務委託事業者選定委員会 委員

横芝光町 地域公共交通会議 委員

芝山町 地域公共交通会議 委員

鎌ヶ谷市 緑の基本計画検討委員会 副委員長

名古屋市 なごや生物多様性保全活動協議会 委員

■江守 央 教授

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会 委員長

(公社)土木学会 関西支部 バリアフリー計画学研究会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事

(一社)日本福祉のまちづくり学会 文化財・世界遺産のアクセシビリティ特別研究委員会研究委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 国際委員会 委員長

国土交通省総合政策局 歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ 構成員

東京都建設局公園緑地部 バリアフリー日比谷公園プロジェクトワークショップ委員会 委員

大田区 移動円滑化推進協議会 副委員長

江東区 都市マスタープラン推進会議 委員

渋谷区 バリアフリー推進協議会 副会長

豊島区 バリアフリー推進協議会 副会長

新宿区 移動等円滑化促進方針推進協議会 副会長

杉並区 バリアフリー推進連絡会 学識経験委員

三鷹市 バリアフリーのまちづくり推進協議会 副会長

府中市 移動等円滑化促進方針等推進協議会 会長

鎌ヶ谷市 福祉有償運送運営協議会 会長

船橋市 都市再生整備計画事業後評価委員会 副委員長

八千代市 福祉有償運送運営協議会 会長

横浜市 バリアフリー検討協議会 港北区部会 部会長

■小早川 悟 教授

(公社)土木学会 特別上級土木技術者資格小委員会 委員

(公社)日本交通政策研究会 「多面的なデータからみた地方都市の物流実態に関する研究」プロジェクト 委員

(一社)交通工学研究会 研究委員会 委員

(一社)交通工学研究会 道路安全診断小委員会 委員長

(一社)交通工学研究会 駐車場地域ルール検討委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面信号基幹研究委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計 計算ソフト検討小委員会 委員長

(公財)国際交通安全学会 褒賞助成部会企画委員会 委員

(公財)国際交通安全学会 英文論文編集委員会

(公財)国際交通安全学会 2403B プロジェクト「無信号横断歩道における車両の譲りを促すための実証的研究」プロジェクトリーダー

警察庁科学警察研究所 特別研究員

国土交通省都市局 まちづくりにおける駐車場政策のあり方検討会 委員

東京都市圏交通計画協議会 東京都市圏総合都市交通体系あり方検討会 委員

東京都都市整備局 物流関係者連絡会 会長

千葉県 大規模小売店舗立地審議会 専門委員

千葉県警察本部 交通事故調査委員会 委員

千代田区 内幸町地域ルール策定協議会 会長

千代田区 千代田区自転車活用推進計画策定協議会 会長

中央区 銀座地区交通環境改善協議会 委員

中央区 東京駅前地区駐車場地域ルール運営委員会 副会長

中央区 築地地区駐車場整備計画検討委員会

港区 駐車場地域ルール運用協議会 会長

渋谷区 地域公共交通会議 会長

渋谷区 自転車活用推進協議会 会長

世田谷区 下北沢周辺駐車場地域ルール策定協議会 会長

鎌ヶ谷市 地域公共交通会議 会長

佐倉市 地域公共交通会議 副会長

四街道市 自転車計画協議会 会長

四街道市 地域公共交通会議 会長

松戸市 交通ビッグデータ見える化協議会 会長

船橋市 交通ビッグデータ見える化協議会 副会長

船橋市 船橋市自転車等駐車対策協議会 会長

■佐田達典 教授

(公社)日本測量協会 理事

(公社)日本測量協会 電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会 会長

(公社)日本測量協会 応用測量論文編集委員会 委員長

(公社)日本測量協会 測量近代化研究会 委員長

(公社)土木学会 土木情報学委員会 常任委員

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画運営委員会 委員

(一社)全国土木施工管理技士会連合会 事業委員会 委員長

(一財)日本建設情報総合センター 理事

(一財)道路管理センター 評議員

(一財)宇宙システム開発利用推進機構 月測位国際標準化専門分科会 委員長

国土交通省国土地理院 測量行政懇談会 副委員長

国土交通省国土地理院 総合評価委員会 委員長

国土交通省国土地理院 令和6年度公共測量に関する課題の調査検討委員会 委員長

国土交通省国土地理院 高精度測位社会における電子基準点施策のあり方検討会 委員

国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術研究開発評価委員会 委員

国土交通省総合政策局 歩行空間の3次元地図ワーキンググループ 座長

国土交通省総合政策局 地域づくり・建設施工等に係る企画競争有識者委員会 委員

国土交通省関東地方整備局企画部施工企画課 新技術活用評価

会議 委員

国土交通省関東地方整備局関東技術事務所 第17期建設技術展示館審査委員会 委員長

■谷口 望 教授

(公社)土木学会 鋼構造委員会 土木学会論文集11小委員会(A分冊) 委員

(公社)土木学会 応用力学委員会 応用力学論文集編集小委員会第5部門 委員

(公社)土木学会 構造工学委員会 構造工学論文集編集小委員会第7部門 委員・副主査

(公社)土木学会 複合構造委員会 シンポジウム小委員会 土木学会論文集複合構造特集号推薦WG 委員

(公社)土木学会 土木技術者資格委員会 特別上級・上級土木技術者資格小委員会 設計部門 主査

(公社)土木学会 土木技術者資格委員会 特別上級・上級土木技術者資格小委員会 鋼およびコンクリート部門 委員

(公社)土木学会 土木技術者資格委員会 2級土木技術者資格小委員会 構造WG 主査

(公社)土木学会 関西支部 安価で確実な鋼橋の長寿命化対策に関する調査研究委員会 委員

(公社)土木学会 応用力学委員会 委員

(公社)土木学会 複合構造委員会 委員

鋼橋技術研究会 鋼橋の性能設計手法に関する検討部会 部会長

鋼橋技術研究会 40周年記念事業 実行委員会 委員長

松戸市 建設工事総合評価委員

■轟 朝幸 教授

(一社)国土政策研究会 会誌「国土と政策」編集委員会 委員

国土交通省航空局 空港における自然災害対策に関する検討委員会 委員

国土交通省航空局 空港分野におけるCO₂削減に関する検討委員会 委員

国土交通省航空局 空港技術懇話会 委員

国土交通省航空局 パーティポート施設のあり方検討委員会 委員長

国土交通省航空局 羽田空港の機能・施設等に関する検討委員会 委員

国土交通省航空局 東京国際空港耐震対策検討委員会 委員長

国土交通省航空局 成田空港施設検討会 委員

国土交通省航空局 津波被害を想定した那覇空港早期復旧に関する検討委員会 委員

国土交通省関東運輸局 地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会 委員

東京都 東京都における地域公共交通の在り方検討会 座長

東京都 交通安全対策会議 委員

東京都 グループ連携事業評価 委員

千葉県 県土整備公共事業評価審議会 会長

千葉県 成田スマートIC 地区協議会 会長

千葉県 成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用に関する検証小委員会 委員長

大阪府・兵庫県・和歌山県 新飛行経路案に係る環境検証委員会 委員

沖縄県 下地島空港及び周辺用地の利活用促進事業検討委員会 委員

葛飾区 都市計画マスタープラン策定委員会 委員

葛飾区 地域公共交通活性化協議会 会長

葛飾区 新金線旅客化検討委員会 幹事長

千葉市 新基本計画審議会 会長

千葉市 地域公共交通活性化協議会 委員長

鎌ヶ谷市 企業誘致推進協議会 委員

松戸市 松戸駅周辺まちづくり委員会 委員

船橋市 地域公共交通活性化協議会 委員

富里市 地域公共交通活性化協議会 副会長

山武市 地域公共交通活性化協議会 副会長

成田市 地域公共交通網形成協議会 副会長

木更津市 地域公共交通活性化協議会 会長

大網白里町 地域公共交通活性化協議会 会長

成田空港地域振興連絡協議会 成田空港地域共生・共栄会議副会長

成田国際空港株式会社 サステナブルNRT推進協議会 委員

中部国際空港株式会社 中部国際空港事業評価監視委員会 委員

熊本国際空港株式会社 第三者モニタリング委員会 委員

いすみ鉄道株式会社 全国いすみ鉄道支店長制度 日大交通システム工学科支店長

■福田 敦 教授

(公社)土木学会 関東支部 幹事

(公財)国際交通安全学会 顧問

(一社)交通工学研究会 理事

(一社)計画・交通研究会 監事

(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 監事

(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 認定・事業委員会 委員

(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE) 国際委員会 委員

(一社)海外運輸協力協会 アドバイザー

EASTS-Japan 会長・理事

日本システム・ダイナミクス学会 顧問

日本環境共生学会 会長・常務理事

Asia Transportation Research Society, Honorable Advisor

(独法)国際協力機構 開発途上国における交通安全プロジェクト 課題別支援委員会 委員

(独法)国際協力機構 開発途上国における都市鉄道プロジェクト 課題別支援委員会 委員

(独法)国際協力機構 タイ国「交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト」 アドバイザー

(独法)国際協力機構 タイ国「バンコク首都圏都市鉄道新マスタープラン(M-MAP2)策定能力向上プロジェクト」 アドバイザー

国土交通省 国際建設関連業務に係る企画競争有識者委員会 委員長

国土交通省 日本アセアン道路交通安全共同調査 アドバイザー

千葉市 都市計画審議会 委員

千葉市 高度地区アドバイザー

千葉市 都市計画道路磯辺茂呂町線(園生町)みちづくり協議会 座長

八千代市 都市計画審議会 委員

八千代市 都市計画道路整備プログラム検討会議 委員

株式会社New Space Intelligence 顧問

■峯岸邦夫 教授

(公社)土木学会 技術者教育プログラム審査委員会 委員長

(公社)土木学会 キッズプロジェクト検討小委員会 幹事

(公社)地盤工学会 関東支部 副支部長

(公社)地盤工学会 関東支部 表彰委員会 委員

(公社)地盤工学会 関東支部 発表会グループ リーダー幹事

(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事

(公社)雨水貯留浸透技術協会 技術評価認定委員会 委員

(一社)日本技術者教育認定機構 認定・審査調整委員会 委員

(一社)日本技術者教育認定機構 基準総合調整委員会 委員

国際ジオシンセティックス学会日本支部 幹事

国際ジオシンセティックス学会日本支部 行事委員会 委員長

国際ジオシンセティックス学会日本支部 論文集編集委員会 委員長

国際ジオシンセティックス学会日本支部 新技術委員会 委員長

国際ジオシンセティックス学会日本支部 表彰委員会 副委員長

国土交通省関東地方整備局東京国道事務所 総合評価審査分科会 委員

国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所 総合評価審査分科会 委員

千葉県 入札監視委員会 委員

千葉県 政府調達苦情審議会 委員

千葉県県土整備部 所管施設現地診断等協力委員

船橋市 一般競争入札【総合評価型】委員会 学識委員

千葉市 盛土規制法に基づく基礎調査委員会 学識委員

■齊藤準平 准教授

(公社)土木学会 総務部門 技術功労賞選考委員会 幹事長

鎌ヶ谷市 建設工事総合評価委員

■山中光一 准教授

(公社)土木学会 舗装工学委員会 路床・路盤小委員会 幹事長

(公社)土木学会 論文賞選考委員会 部門幹事

(公社)土木学会 土木学会論文集編集小委員会 52小委員会 幹事

(公社)土木学会 舗装工学委員会 舗装材料小委員会 委員

(公社)地盤工学会 関東支部 支部発表会グループ 総務部 会長

(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事

(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内委員会 委員

(公社)地盤工学会 公益出版部会 部員

(公社)地盤工学会 公益出版部会 出版事業グループ 委員

(特非)舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 小型FWD 検証分科会 委員

(特非)舗装診断研究会 舗装診断装置検証委員会 委員

(特非)舗装診断研究会 舗装構造評価委員会 委員

ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス技術情報誌編集委員会 委員

■吉岡慶祐 准教授

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 学術小委員会 委員

(公社)土木学会 総務部門 全国大会プログラム編成委員第4部門 委員

(公社)土木学会 コミュニケーション部門 土木広報センター 未来の土木コンテストグループ グループ員

(公財)国際交通安全学会 H2409B プロジェクト「日本型ラウンドアバウトの普及加速に向けての調査研究」 特別研究員

(公財)国際交通安全学会 H2412B プロジェクト「小型電動モビリティの受容性、安全性向上に向けた環境整備に関する国際比較研究」 特別研究員

(一社)交通工学研究会 資格委員会 委員

(一社)交通工学研究会 研究企画小委員会 委員

(一社)交通工学研究会 広報小委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画・設計・制御の研究グループ 応用編分科会 委員

(一社)交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ(HCQSG) 委員兼幹事

(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウトの計画・設計・交通運用に関する研究グループ 委員兼幹事

(一社)交通工学研究会 高速道路単路部の渋滞現象記述理論の実務への応用委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画・設計・制御の研究反転交差点分科会 委員

船橋市 交通ビッグデータ見える化協議会交通円滑化・交通安全対策部会 部会員

■青山恵里 助教

(公財)国際交通安全学会 2024年度海外調査プロジェクト「未来の都市の交通及び安全に係る取り組みの調査研究」 特別研究員

(公財)国際交通安全学会 研究調査プロジェクト「無信号横断歩道における車両の譲りを促すための実証的研究」 特別研究員

学外学術活動

2024. 4. 1～2025. 3. 31

■石坂哲宏 教授

講師：河南省高速道路ネットワークモニター料金通信サービス有限公司訪日研修「都市交通管理における交通ビッグデータの取得と活用」/日中科学技術文化センター/日本教育会館 2024.12.13

司会：JSD カンファレンス/日本システム・ダイナミクス学会/新潟国際情報大学 2024.8.26

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員

(一社)交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ(HCQSG) 委員兼幹事

(一社)交通工学研究会 千葉国道事務所版道路安全診断試行作業 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画・設計・制御の研究グループ 飽和交通流率分科会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画・設計・制御の研究応用編分科会 委員

(一社)交通工学研究会 高速道路単路部の渋滞現象記述理論の実務への応用委員会 委員

(一社)交通工学研究会 TMC データを用いた新たなソリューションの検討 委員

松戸市 交通ビッグデータ見える化協議会 オプザバー

松戸市 交通ビッグデータ見える化協議会 対策部会 副部会長

■菊池浩紀 助教

(公社)土木学会 関東支部 広報部会 副主査

(公財)国際交通安全学会 調査プロジェクト「無信号横断歩道における車両の譲り促すための実証的研究」 特別研究員

日本システム・ダイナミクス学会 幹事(総務)

日本環境共生学会 学術・研究委員会 委員

日本環境共生学会 編集委員会 委員

日本環境共生学会 国際化タスクフォース 委員

日本環境共生学会 Web 改訂タスクフォース 委員

銚子市 地域公共交通協議会 副会長

■末次優花 助手

日本景観生態学会 企画交流委員会 委員

日本景観生態学会 国際交流若手 WG 委員

日本環境共生学会 学術・研究委員会 委員

環境アセスメント学会 若手研究会 委員

座長：第15回横幹連合コンファレンス「システム思考とシミュレーションの応用」セッション/(特非)横断型基幹科学技術研究団体連合/東京科学大学 2024.12.15

座長：第52回関東支部技術研究発表会/(公社)土木学会関東支部/群馬工業高等専門学校 2025.3.11

■伊東英幸 教授

コーディネーター・座長：2024年度環境アセスメント学会第23回大会特別集会2「再エネ立地問題の現状と課題」/環境アセスメント学会/東京農業大学世田谷キャンパス国際センター 2024.8.31

講演：第27回(2024年度)日本環境共生学会学術大会無料公開ミニシンポジウム「世界自然遺産登録された南西諸島における野生動物のロードキルの現状と課題」/講演テーマ「ヤンバルクイナのロードキルの現状と対策」/日本環境共生学会・道路生態研究会共催/立命館大学大阪いばらきキャンパス 2024.9.14

座長：第27回(2024年度)日本環境共生学会学術大会セッション「自然と農業」/日本環境共生学会/立命館大学大阪いばらきキャンパス 2024.9.15

講師：環境コンサルタント・環境アセスメント業界紹介/講演テーマ「環境アセスメントとは」/(一社)日本環境アセスメント協会/オンライン 2024.10.18

講演：国際シンポジウム ROAD ECOLOGY IN ASIA「Analysis of Roadkill Causes by Model Building Case studies on Ezo sika deer, Amami rabbit, and Okinawa rail」/Road Ecology Research Society of Japan, Asia Transportation Ecology Forum, Environmental and Sustainability Division, China Highway & Transportation Society / オンライン 2024.11.9

講演：令和6年度アマミノクロウサギロードキル対策ワークショッププログラム/講演テーマ「奄美大島のアマミノクロウサギのロードキルの分析」/環境省/アマホームプラザ中多目的室(オンライン参加) 2024.11.25

講演：令和6年度アマミノクロウサギロードキル対策ワークショッププログラム/講演テーマ「奄美大島のアマミノクロウサギのロードキルの分析」/環境省/天城町役場(オンライン参加) 2024.11.28

講師：令和6年度環境影響評価研修第4回「事業アセス」(一般向け)/講演テーマ「事業アセス～道路アセス～」配慮書手続きと米国の事例の観点から/環境省/オンライン 2024.12.18

■江守 央 教授

講演：第16期第11回出展技術発表/講演テーマ「インフラ分野のDXに関する教育・研究紹介」/国土交通省関東地方整備局/関東地方整備局関東技術事務所「建設技術展示館」内 2024.11.1

オーガナイザー：土木学会第70回土木計画学研究発表会「移動円滑化計画の課題と提案」/(公社)土木学会/岡山大学 2024.11.16

■小早川 悟 教授

講演：2023年度研究調査報告会ならびに学会賞贈呈式/(公財)国際交通安全学会/経団連会館 2024.4.12

講師：令和6年度鳥根県道路実技研修「平面交差の計画と設計の基本的な考え方」/鳥根県/鳥根県職員会館 2024.7.30

講師：令和6年度道路整備施策研修「物流と道路交通施策」/(一社)全国建設研修センター/全国建設研修センター 2024.7.4

講師：令和6年度道路マネジメント研修「物流と道路マネジメント」/国土交通大学校/国土交通大学校 2024.10.10

講師：令和6年度JICA都市交通総合研修「駐車マネジメント」/(独法)国際協力機構/JICA 東京2024.10.7

オーガナイザー：第6回JSTEシンポジウム/道路安全診断セッション「交通データの活用と道路安全診断」/(一社)交通工学研究会/フェニックス・プラザ 2024.11.29

■佐田達典 教授

開会挨拶：第34回応用測量技術発表会/日本測量協会/水道会館 2024.8.2

座長：土木学会令和6年度全国大会第79回年次学術講演会/(公社)土木学会/東北大学 2024.9.6

開会挨拶：第20回リアルタイム測位利用技術講習会/電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会/日本測量協会・オンライン(同時配信) 2024.11.7

講演：第2回歩行空間DX研究会シンポジウム～「持続可能」な移動支援サービスの普及・展開に向けて～/国土交通省/東洋大学 INIAD・オンライン(同時配信) 2025.1.23

■谷口 望 教授

講演賞・優秀技術講演賞審査員/第27回土木学会応用力学シンポジウム/(公社)土木学会応用力学委員会/岡山大学 2024.5.15-16

座長：土木学会令和6年度全国大会第79回年次学術講演会/(公社)土木学会/東北大学 2024.9.5-6

優秀講演者賞審査員：第15回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム/(公社)土木学会複合構造委員会/土木学会 2024.11.9-10

■轟 朝幸 教授

講師：サステナブルNRT推進協議会「空港若手社員のサステナビリティ意識醸成について」/成田国際空港株式会社/成田空港 2024.9.9

講演：フォーラム80「未来の空港—これからの航空輸送を支えるために」/(一社)総合研究フォーラム/千代田区 2024.10.8

■福田 敦 教授

講師：第1回タイ警察向けセミナー／(独法)国際協力機構／パタヤ 2024.5.10

講師：第2回タイ警察向けセミナー／(独法)国際協力機構／パトントニ 2024.5.10

講演：交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト“Basic Approach to Road Traffic Safety in Japan and Implication for Thailand”／(独法)国際協力機構／タイ運輸省 2024.6.17

講演：令和6年度エイトライナー促進協議会講演会「エイトライナーによる新たな地域の創造に向けて」／エイトライナー促進協議会／玉川せせらぎホール(玉川区民会館) 2024.7.29

司会：第17回 ATRANS Annual Conference, Parallel Session 2A: “Smart Mobility, Cities, and Logistics”／ATrans／Chatrium Grand Bangkok Hotel 2024.8.30

講師：令和6年度 JICA 課題別研修「総合都市交通」発展途上国における交通安全対策(タイの都市における事例)／(独法)国際協力機構／JICA 東京 2024.10.7

講師：令和6年度 JICA 課題別研修「都市公共交通」Sustainable Transportation System in Asian Cities／(独法)国際協力機構／オンライン 2025.1.30

講師：第3回タイ警察向けセミナー／(独法)国際協力機構／ベチャプリ 2025.2.28

モデレータ：2024年度 ASEAN における道路交通安全対策共同調査提案事業／国土交通省／国土交通省2025.3.4-5

講演：産学連携フォーラム「第19回自動車技術に関する CAE フォーラム」／デジタル技術を活用した交通分析の展開／東京大学モビリティ・イノベーションセンター連携研究機構／御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 2025.3.5

■山中光一 准教授

座長：土木学会令和6年度全国大会第79回年次学術講演会「路床・路盤」／(公社)土木学会／東北大学 2024.9.5

座長：第3回交通地盤工学に関する国内シンポジウム「港湾地盤工学」／(公社)地盤工学会／近畿大学 2024.11.15

■吉岡慶祐 准教授

講師：安全運転管理者講習／東京都交通安全管理協会／銀座プロッサムホール 2024.10.3

講師：安全運転管理者講習／東京都交通安全管理協会／なかのZERO ホール 2024.10.22

講師：安全運転管理者講習／東京都交通安全管理協会／なかのZERO ホール 2025.2.20

オーガナイザー：土木学会第70回土木計画学研究発表会「ラウ

ンドアバウト：普及促進に求められるものとは？」／(公社)土木学会／岡山大学 2024.11.17

パネリスト：第6回 JSTE シンポジウム「日本のシームレスなネットワークとサービス向上に向けてのラウンドアバウトの可能性」～「WISENET2050」での位置づけと活用促進への道すじ～／(一社)交通工学研究会／フェニックス・プラザ 2024.11.29

■青山恵里 助教

パネリスト：第6回 JSTE シンポジウム「飽和交通流率は実測が原則」と言われても…／(一社)交通工学研究会／フェニックス・プラザ 2024.11.28-29

■菊池浩紀 助教

副座長：7th International Conference of Contemporary Affairs in Architecture and Urbanism／Third Roundtable Session B: 3_Heritage and Cultural Landscapes “Cultural Studies”／International Conference of Contemporary Architecture and Urbanism／Alanya University 2024.5.23

座長：第52回関東支部技術研究発表会「交通工学・交通計画1」／(公社)土木学会関東支部／群馬工業高等専門学校 2025.3.10

■末次優花 助手

講演：2024年度アニマルバスウェイ研究会における講演「鳥取県における運転者のロードキル防止意識に関する研究」／(一社)アニマルバスウェイと野生生物の会／新宿 NPO 協働推進センター 2024.6.29

司会：第27回(2024年度)日本環境共生学会学術大会／無料公開ミニシンポジウム「世界自然遺産登録された南西諸島における野生動物のロードキルの現状と課題」／日本環境共生学会・道路生態研究会共催／立命館大学大阪いばらきキャンパス 2024.9.14

講演：国際シンポジウム ROAD ECOLOGY IN ASIA「Problems in Roadkill Date Collection in Japan」／Road Ecology Research Society of Japan, Asia Transportation Ecology Forum, Environmental and Sustainability Division, China Highway & Transportation Society / オンライン 2024.11.9

海外出張

2024. 4. 1 ～ 2025. 3. 31

| 教員名 | 出張期間／出張目的／訪問国 |
|----------|--|
| 石坂哲宏 教授 | 2024年8月18日～23日／交通まちづくり工房国際グループの現地調査(タイ・カセサート大学と協働)／バンコク(タイ) |
| 小早川 悟 教授 | 2024年8月13日～27日／日本大学本部主催令和6年度ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジサマースクール引率／ケンブリッジ(イギリス) 2024年11月4日～5日／ATrans 研究プロジェクトに関する現地視察ならびに意見交換／バンコク(タイ) |
| 谷口 望 教授 | 2024年6月14日～20日／University of the Philippines Diliman, Pacheco 教授との会談およびマニラ地下鉄建設現場視察／マニラ(フィリピン) 2024年8月6日～23日／日本大学短期海外研修(欧州土木構造物の調査、Aalto 大学 Lin 准教授との会談)／英国各地、ヘルシンキ(フィンランド) 2024年11月11日～20日／国際会議(EASEC-18)での論文発表および Kasetsart 大学訪問／チェンマイ、バンコク(タイ) |
| 轟 朝幸 教授 | 2024年8月21日～24日／日本大学ニューキャッスルキャンパス開講式／ニューキャッスル(オーストラリア) 2025年3月26日～28日／Inter Airport Southeast Asia / シンガポール |
| 福田 敦 教授 | 2024年5月8日～13日／JICA 主催第1回タイ警察向けセミナー開催、IATSS 研究プロジェクト2311A に関わる現地調査および打合せ／パタヤ(タイ) 2024年5月28日～6月3日／Th 29th National Convention on Civil Engineer (NCCE29) 参加、論文発表／チェンマイ(タイ) 2024年6月19日～24日／JICA「交通安全に関する組織能力および実施能力向上プロジェクト」に関わる JCC (合同調整委員会) 参加／バンコク(タイ) 2024年8月11日～9月4日／ATrans 年次大会への準備・参加、IATSS との合同委員会、IATSS および ATRANS 研究プロジェクト打ち合わせ・視察など／バンコク(タイ) 2024年10月31日～11月8日／ATrans 研究打ち合わせ、IATSS 研究プロジェクトの視察と会議、タイ国家警察との打ち合わせ、チュラロンコン大学との打合せなど／バンコク(タイ) 2024年11月26日～29日／JICA 主催第2回タイ警察向けセミナー開催／バンコク(タイ) 2024年12月12日～18日／ATrans 理事会、ATrans 研究プロジェクト打合せおよび視察、カセサート大学博士論文審査打ち合わせ／パタヤ(タイ) 2025年2月6日～8日／JICA 主催タイ国「鉄道」Technical Advisory Committee (TAC: 技術諮問委員会) 参加／バンコク(タイ) 2025年2月27日～28日／JICA 主催第3回タイ警察向けセミナー開催／ベチャプリ(タイ) |
| 齊藤準平 准教授 | 2024年3月1日～2025年2月28日／日本大学海外派遣研究員(長期)／グラスゴー(英国) |
| 吉岡慶祐 准教授 | 2024年7月15日～19日／25th International Symposium on Transportation and Traffic Theory (ISTTT25) 参加／アナーバー(アメリカ) |
| 青山恵里 助教 | 2024年8月19日～31日／タイにおける自動二輪車混在交通容量および信号制御方法の実態調査および ATRANS Young Researcher's Forum (AYRF) 2024参加／バンコク、コンケン(タイ) |
| 菊池浩紀 助教 | 2024年4月20日～28日／The 1st International Conference on Environmental Design, Material Science, and Engineering Technologies にて研究発表／ドバイ(アラブ首長国連邦) 2024年5月21日～25日／7th International Conference of Contemporary Affairs in Architecture and Urbanism にて研究発表／アランヤ(トルコ共和国) 2024年8月26日～31日／17th ATRANS Annual Conference にて研究発表／バンコク(タイ) 2024年9月16日～22日／European Transport Conference 2024にて研究発表／アントワープ(ベルギー) 2025年2月22日～3月2日／タイにおける次世代モビリティの実現可能性のヒヤリング調査および現地視察／バンコク・チャアム(タイ) 2025年3月16日～20日／DBA Engineering Consultancy のプロジェクトにおける現地視察／セブ(フィリピン) |

外部研究資金の受入状況

2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31

助成金名・委託元など（研究期間）

研究課題 教員名

文部科学省科学研究費 若手研究（2022.4.1~2025.3.31）
縮小する都市におけるコンパクトシティの実現に至るための政策評価手法の構築 菊池浩紀（代表）

文部科学省科学研究費 若手研究（2022.4.1~2025.3.31）
交通信号機の撤去・設置判断に資する無信号交差点の交通容量評価手法の実証的検証 吉岡慶祐

文部科学省科学研究費 基盤研究（B）（2024.4.1~2027.3.31）
広域周遊観光における移動等のアクセシビリティの連続性と連携に関する実証研究 石塚裕子（代表）、江守 央、柳原崇男

文部科学省科学研究費 基盤研究（B）（2023.4.1~2026.3.31）
強化学習を用いた分散制御によるネットワーク信号制御の最適化に関する研究 桑原雅夫（代表）、吉岡慶祐

文部科学省科学研究費 基盤研究（C）（2021.4.1~2025.3.31）
立地適正化計画を考慮した駐車場配置適正化のための評価方法に関する研究 小早川 悟（代表）、田部井優也

文部科学省科学研究費 基盤研究（C）（2022.4.1~2025.3.31）
基幹空港のアクセスにおける災害時交通マネジメントの構築 轟 朝幸（代表）、兵頭 知、吉岡慶祐

文部科学省科学研究費 基盤研究（C）（2022.4.1~2026.3.31）
圧縮応力が継続または繰返し作用するコンクリート構造物の塩分浸透予測式の構築 齊藤準平（代表）

文部科学省科学研究費 基盤研究（C）（2024.4.1~2028.3.31）
新たなレジリエントモデュラス試験法の計測手法提案に関する基礎的研究 山中光一（代表）

（公財）戸田育英財団研究助成金（2024.4.1~2025.3.31）
応力計測位置がMr試験の計測結果に及ぼす影響に関する研究 山中光一（代表）

（公財）三井住友海上福祉財団（2024.12.1~2025.11.30）
幹線道路の道路条件および交通状況から見る生活道路の交通事故の特徴および交通事故対策に関する研究
..... 青山恵里（代表）、小早川 悟

（一社）日本鉄鋼連盟 鋼構造研究・教育助成事業（2023.4.1~2025.3.31）
床版取り換えを想定しサステナビリティを向上させた弾性合成桁の開発に関する研究 谷口 望（代表）、ほか

（一社）日本鉄鋼連盟 関東東北地区鋼構造ネットワーク活動助成（2024.4.1~2025.3.31）
関東東北地区鋼構造ネットワーク活動 齊木 功（東北大学、代表）、谷口 望、ほか

中小企業経営支援等対策費補助金（経済産業省）（2022.8.1~2025.3.31）
高速チルトウィング機の高安全性姿勢制御技術開発 轟 朝幸、兵頭 知

日本大学特別研究（2024.4.1~2026.3.31）
「災害に強く人にやさしい地域共創拠点」の構築を目指したCyber-Physical Systemの開発 石坂哲宏、ほか

（一財）港湾空港総合技術センター（2024.11.1~2025.3.31）
これからの空港システムに関する基礎調査 轟 朝幸（代表）、吉岡慶祐

株式会社ドーコン（2024.4.9~2024.12.12）
GNSSを用いた低速移動体の挙動計測に関する研究 江守 央（代表）

三井住建道路株式会社（2024.5.1~2025.3.31）
情報化施工に関する研究 佐田達典（代表）

朝日航洋株式会社（2025.2.1~2025.3.31）
MMSの精度検証 佐田達典（代表）

日鉄環境株式会社（奨励寄付金）（2024.5.16~2025.3.31）
土木構造物の設計手法に関する研究 谷口 望（代表）

日鉄環境株式会社（奨励寄付金）（2025.2.24~2026.3.31）
土木構造物の設計手法に関する研究 谷口 望（代表）

宮地エンジニアリング株式会社（奨励寄付金）（2024.5.20~2025.3.31）
鋼構造物の設計・製作に関する研究 谷口 望（代表）

トーニチコンサルタント株式会社（共同研究）（2024.4.15~2025.3.31）
複合構造物に関する設計法の研究 谷口 望（代表）

復建エンジニアリング株式会社（共同研究）（2024.6.10~2025.3.31）
鉄道構造物の設計手法に関する研究 谷口 望（代表）

日本交通技術株式会社（共同研究）（2024.7.19~2025.3.31）
鋼鉄道構造物に関する研究 谷口 望（代表）

日本工営株式会社（受託研究）（2024.12.11~2025.3.31）
タイ国次世代モビリティ実現可能性調査 福田 敦（代表）、菊池浩紀

前田道路株式会社（2024.1.26~2025.3.31）
道路工学および交通工学の研究 齊藤準平（代表）

東日本高速道路株式会社（2025.3.1~2026.2.28）
暫定2車線解除基準の検討に向けた高速道路の交通サービスの質の検討 青山恵里（代表）

受賞

2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31

賞（受賞年月）

教員名

Asian Transportation Research Society / The Best Paper and Presentation Award

Fundamental Analysis of Awareness for Electric Vehicles in Japan（2024.8）..... 菊池浩紀、福田 敦

令和6年度 学生の受賞等 2024. 4. 1 ~ 2025. 3. 31

主催者／賞などの内容（受賞年月）

受賞者氏名（研究室）

富里市／表彰／

富里市公共交通マップ（2024.7）
..... 渥美裕斗、阿部雄基、五十嵐健悟、石橋一樹、坂田光太郎、中島拓未（2023年度交通環境研究室）

日本環境共生学会／優秀発表賞／

自動車のヘッドライト点灯によるヤンバルクイナの飛び出し防止効果の検証—沖縄県道2号線を対象として—（2024.9）
..... 笠木一樹（交通環境研究室）

鋼構造を語る会（日本鉄鋼連盟関東東北地区NW主催）／鉄鋼連盟特別賞／

鋼構造が地域に与える影響（2024.9） 田中寛昌（鉄道構造研究室）

鋼構造を語る会（日本鉄鋼連盟関東東北地区NW主催）／鉄鋼連盟特別賞／

鋼構造が地域に与える影響（2024.9） 菅野允陽（鉄道構造研究室）

日本大学理工学部／令和6年度第68回理工学部学術講演会／優秀発表賞／

MMSによる橋梁下部からの上部工下面計測の寸法精度検証（2024.12） 高山 拓（空間情報研究室）

日本大学理工学部／令和6年度第68回理工学部学術講演会／優秀発表賞／

大型車の混在を考慮した信号交差点の交通容量の算出方法に関する研究（2024.12） 市川 遼（交通計画研究室）

日本大学理工学部／令和6年度第68回理工学部学術講演会／優秀発表賞／

HHIを用いた国内コンテナ港湾における背後圏と取扱貨物の特性に関する一考察（2024.12）
..... 管 健太郎（運輸交通計画研究室）

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター／第5回学生研究発表会／優秀研究発表賞／

バンコクの生活道路における交通安全対策としてのスピードハンプの設置に関する研究（2025.2）
..... 酒井大翔（交通システム研究室）

教室の動き

教室関連の動きを報告します。

■ スポーツ大会

谷口 望、山中光一、吉岡慶祐（3年生担任）

2024年10月26日(土)、交通システム工学科スポーツ大会を開催しました。3年生の幹事を中心に、「学年を越えた交流の場づくり」と「楽しく体と脳を動かす」をコンセプトに企画・運営しました。当日は天候にも恵まれ、1年生から4年生、大学院生、教員を含む約150名が参加しました。競技はソフトボールとeスポーツが行われ、ソフトボールの各会場では、1点を争う白熱した試合が繰り広げられ、大きな歓声が響き渡りました。大会終了後には懇親会とビンゴゲーム大会も開催され、学年を越えた交流はもちろん、学生と教員の親睦を深める貴重な機会となりました。



開会式

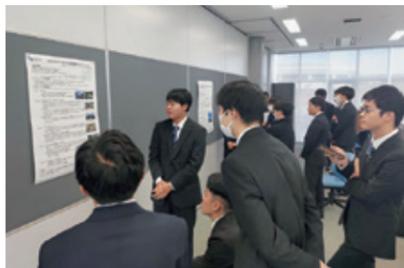


ソフトボール

■ 「インターンシップ報告会」と就職活動・キャリア支援の報告

谷口 望、山中光一、吉岡慶祐（3年生担任）

学科設置科目である「キャリアデザイン」を中心に、今年度の就職活動を控えた学生は、さまざまなキャリア形成に向けた取り組みを行っています。6月頃から本格的に「インターンシップ」の応募が始まるため、それに向け



「インターンシップ報告会」



「キャリアアップミーティング」



「わだちの会主催「就職応援ミーティング」

たビジネスマナーの習得、エントリーシートの書き方の練習、業界研究などを進めています。

授業ではインターンシップへの参加を推奨しており、業界関連企業での業務を経験することを勧めています。また、夏季休暇期間にインターンシップに参加した学生の活動報告・情報共有の場として、「インターンシップ報告会」を2024年11月9日(土)午前中に開催し、3年生のおよそ半数の学生が報告を行いました。報告は、各自が作成したA1サイズのポスターを掲示し、ポスター発表形式で実施されました。積極的に発表を行う学生の姿が印象的であり、日頃の学業では経験できない社会とのつながりを実感しながら、今後のキャリアをより深く考える機会になったのではないかと思います。

また、当学科では授業の一環としての活動に加え、卒業生による支援も充実しています。11月9日(土)午後には「キャリアアップミーティング」を開催し、りんかい日産建設株式会社、日本工営株式会社、株式会社ネクスコ・メンテナンス関東、アジア航測株式会社、東日本高速道路株式会社、一般財団法人国土技術研究センター、国土交通省から若手卒業生をお招きし、業界の最新情報や仕事の実情についてお話いただきました。さらに、同じキャンパスで学ぶ大学院前期課程2年生や公務員試験の現役合格者からは、大学院進学や国家公務員へのキャリア展望についての情報提供も行われました。

さらに、12月7日(土)には、約8,000名の会員を有する当学科の同窓会「わだちの会」の協力のもと、船橋キャンパス14号館製図室にて、70社を超える企業・組織による会社説明会(就職応援ミーティング)を開催しました。懇親会にも多くの卒業生が参加し、現役学生にとって大変刺激的な機会となりました。

現在、多くの3年生が就職活動やインターンシップ、公務員試験に向けた準備を進めていることと思いますが、今

回の各種イベントがキャリア形成や自己分析において有意義なものとなったことを願っております。この場をお借りして、協力いただいた卒業生および関係の皆様にご心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

■ 令和6年度卒業研究発表会

江守 央、佐田達典、福田 敦（4年生担任）



令和6年度卒業論文概要集

令和6年度卒業研究発表会が、2025年2月1日(土)に船橋キャンパス14号館2階の4教室にて開催されました。本年度は、108件(発表者110名)の発表があり、会場には大学院生のほかに3年生、2年生などの他学年に加え、保護者の方や研究にご協力いただいた企業の方々にもご参加いただきました。

卒業研究発表会では、卒業研究の共通授業で学ぶ、研究の背景や目的を簡潔に説明し、目的を達成するための研究方法を展開し、調査・実験・分析の結果を踏まえた考察などを発表するという内容を、スライドの中に論理的にわかりやすく表現した上で説明することが求められます。さらに教員をはじめとした聴講者からの質疑応答にも対応することとなります。また、発表会と前後して1月25日(土)に概要提出、2月8日(土)に本論提出を実施しました。このような非常に多忙な数週間を経験して、今後の仕事や人生のさまざまな場面で活かされることを担任として期待しています。また、本年度は概要集の冊子はカラー化となりましたので、後輩のみなさんにも見やすい資料として残せることができたと思いますので、今後の卒業研究の発展も期待しています。



発表会の様子

■ 令和6年度修士論文最終審査会

小早川 悟（大学院担任）

令和6年度大学院博士前期課程2年生の修士論文最終審査会を、2025年2月19日(水)10時より船橋キャンパス13号館1326教室で開催しました。発表10分、質疑応答10分と、中間審査に比べるとそれぞれの時間が短縮されましたが、発表者は2年間研究を進めてきた集大成である修士論文の内容を要領よくコンパクトにまとめて発表していました。また、質疑応答についても、要点をまとめてしっかりと的確に回答していました。

15名全員の発表および質疑応答が終了した後、大学院特別研究の指導教員による審査が行われた結果、全員が合格となり、3月25日(火)に修士(工学)の学位が授与されました。なお、修士論文の各題目は本号8ページをご覧ください。

本年度の大学院生は、学部時代の不自由なコロナ禍を経て、大学院に進学してからは活発な研究活動ができるようになってきた学年でした。大学院進学後に、学外への論文投稿や口頭発表が2編以上という修士論文提出の条件(審査基準)に適合するために積極的に学外での発表を行ってきたため、審査会では堂々と発表して2年間の成長を見ることができました。4月からはそれぞれの道に進みますが、今後の大いなる活躍を心から願っています。



審査会の様子

■ 交通まちづくり工房活動報告

吉岡慶祐

交通まちづくり工房は、本年度も「地域活性化」「交通安全」「国際まちづくり」「コンクリートカヌー」「鋼橋」の5つのプロジェクトがそれぞれ活動に取り組みました。各プロジェクトが学生主体でフィールドワーク・地域のイベントへの参加・コンテストや大会へ出場するとともに、



年間成果報告会

学術講演会・学会などの対外発表にも積極的に参加しました。2025年2月12日（水）には「交通まちづくり工房年間成果報告会」を開催し、各プロジェクトの本年度の活動が報告されました。また、今年の成果報告会には交通安全プロジェクトで共に活動している習志野台8丁目自治会の方にもお越しいただき、活発な意見交換が行われました。

■ 受賞報告

第29回土木系学生によるコンクリートカーナー大会にて「デザイン賞」を獲得

2024年8月3日（土）に海の森水上競技場でコンクリートカーナー大会が開催され、交通まちづくり工房・コンクリートカーナープロジェクトのメンバーがデザイン賞を受賞しました。船の名前は「紅一点」で、材料の選定から製作やデザインを学生自身が決めました。カーナーのレース競技としては惜しくも準決勝敗退となりましたが、船のデザインやチームワークが評価されました。



第3回鋼構造物を語る会にて「日本鉄鋼連盟特別賞」を受賞

日本鉄鋼連盟・関東東北地区ネットワークの主催で、第3回鋼構造物を語る会が2024年9月20日（金）に開催されました。この会の中で、博士前期課程2年（鉄道構造研究



室)の菅野允陽さんと田中寛昌さんが「鋼構造が地域に与える影響」について優れたプレゼンテーションを行い、表彰されました。

■ 第5回学生研究発表会にて「優秀研究発表賞」を受賞

日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センターが主催する第5回学生研究発表会が2025年2月28日（金）に開催されました。この発表会において、博士前期課程2年（交通システム研究室）の酒井大翔さんが「バンコクの生活道路における交通安全対策としてのスピードハンプの設置に関する研究バンコクの生活道路における交通安全対策としてのスピードハンプの設置に関する研究」と題した研究発表を行い、「優秀研究発表賞」を受賞しました。

■ 事務局からのお知らせ

春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。夢と希望を胸いっぱい新しいスタートを迎えていることと思います。楽しく、有意義な学生生活を過ごせたらいいですね。

事務局では皆さんの学生生活のサポートを行っており、就職・進学・その他の資料も閲覧できるようになっております。また、就職活動関係の参考書や問題集の貸し出しもしておりますのでぜひ活用してください。気軽に学科事務室に足を運んでください。

事務室案内

| | | |
|--------|---|------------------------|
| 事務取扱時間 | 月曜日～金曜日 | 9:30～13:00、14:00～16:00 |
| 場所 | 7号館2階7214室 ※入り口は2カ所ありますが、向かって右側が学生専用出入口です。必ず交通システム工学科の赤いストラップを身につけて来てください。 | |

令和6年度 就職状況

4年生担任 江守 央、佐田達典、福田 敦

令和6年度の卒業予定者は113名、大学院前期課程修了予定者は15名、合計128名に対して、3,000件以上の求人があり、就職を希望しないあるいは帰国、また退学などを除くと、概ね100%の学生が進路を決定しました（令和7年3月現在）。

本年度の就職活動は、早期選考などの影響があり、就職活動が3月より以前からインターンとして開始する企業などが多数となりました。このことから、学生の報告に基づく月別の内々定数は図-1に示すように、4月に大学院生で約70%、学部生で約40%が内々定を報告しています。大学院生はほぼ内定とともに進路を決定する傾向にありますが、学部生については数社

内々定を持っているものの、8月を目処に進路を決定するといった状況が伺えます。

就職先を業種別にみますと、複合サービス業（建設コンサルタントは複合サービス業とする）が学部生では約25%、大学院生では約70%と大きな割合を占めています。なお、学部生では建設業、運輸業（主に鉄道会社）が次いで約20%となっています。地方公務員（県庁、東京都23区を含む）（図-2）、国家公務員は2名が国家総合職で国土交通省へ入庁します。就職の内訳については建設コンサルタントへの進路が若干増えてきている傾向や航空業界への進路も増えつつある傾向が伺えます。

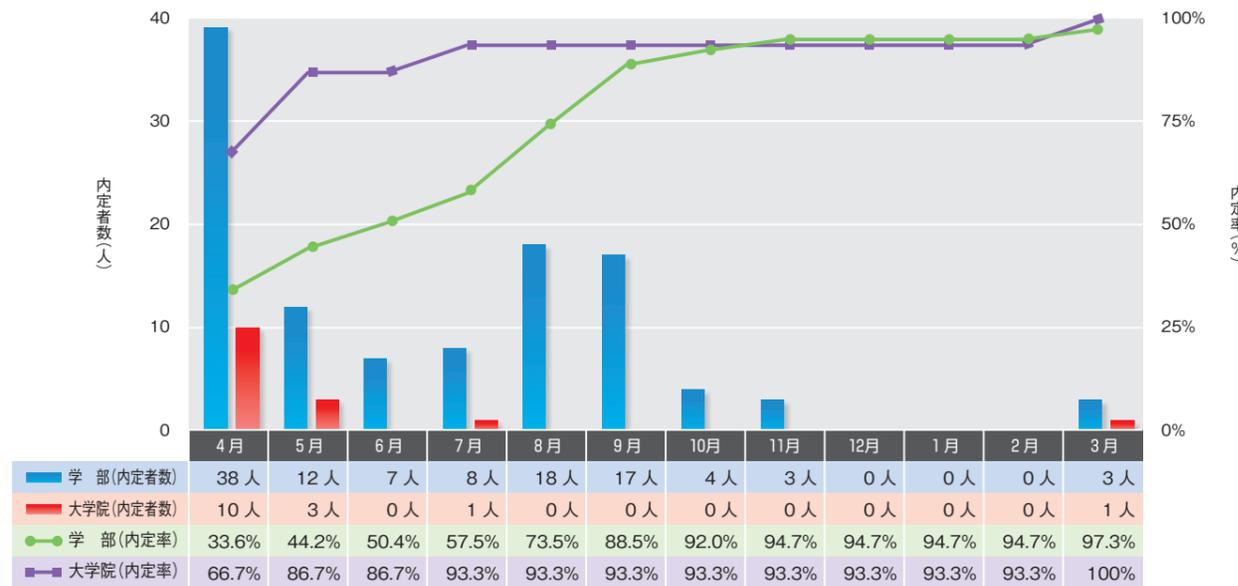


図-1 令和6年度内定者の推移

就職先業種別内定人数

| 内定先業種 | 大学院(人) | 学部(人) |
|-------------|--------|-------|
| 建設業 | 3 | 21 |
| 運輸業 | 1 | 22 |
| 国家公務員 | 0 | 2 |
| 地方公務員 | 1 | 16 |
| 大学院・進学・研究生 | 0 | 16 |
| 情報サービス業 | 0 | 1 |
| 複合サービス業 | 9 | 28 |
| 一般機械器具製造業 | 0 | 1 |
| 学校教育 | 0 | 1 |
| 通信業 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 1 |
| 就職を希望しない・帰国 | 1 | 4 |
| 合計 | 15 | 113 |

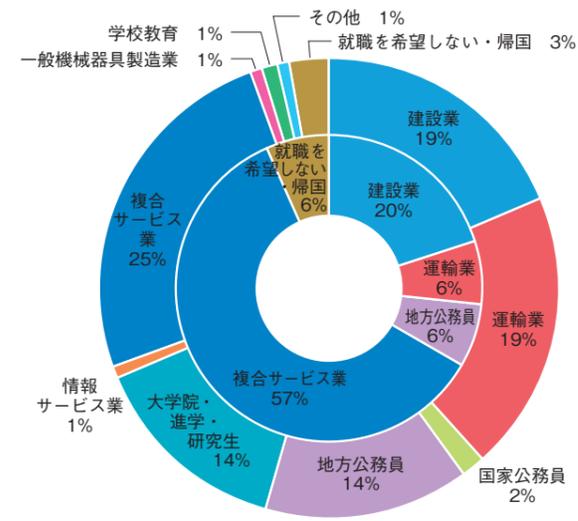


図-2 就職先業種別割合（内：大学院、外：学部）



1年間グラスゴーに 滞在して

齊藤 準平
准教授

日本大学長期派遣研究員として、英国・グラスゴーに1年間(2024年3月1日~2025年2月28日)滞在了。滞在中の記録を以下に述べたいと思います。

(1) グラスゴーについて

グラスゴーはスコットランドにあり、英国で4番目に人口が多い都市です。近代は造船業で栄えましたが現在は文化・芸術・若者の街として知られています。以前に中村俊輔選手が大活躍したサッカーチーム(セルティック)があります。

(2) ストラスクライド大学とペリダイナミクス研究センターについて

滞在了ストラスクライド大学はグラスゴー市内中心部にある1796年に設立された歴史のある大学です。ペリダイナミクス研究センター(PDRC)は、さまざまな材料の構造部材の破壊に至るまでの挙動の分析をコンピュータによる計算によって解明することに取り組んでいる研究機関です。滞在中は、研究センター長のErkan Oterkus教授より、計算力学に関する理論や手法を学び、研

究指導を受けました。さらに、PDRCの研究者同士の定期的な研究議論を通じて、当該研究分野の研究動向についての理解や交流を深めました(図1、2)。

(3) 研究活動

滞在中は大学施設のComputer Labのコンピュータを用いて、研究対象であるコンクリート部材の破壊挙動の視覚的な解明に取り組みました。具体的には、骨材に関する条件(骨材寸法、複数骨材の位置関係等)や施工欠陥に伴う空隙に関する条件(骨材下部のブリーディングによる空隙、一般的な空隙)の構造解析を行い、応力付与時のコンクリート中の骨材周辺の応力やひずみに関する検討を行いました(図3)。

構造解析には有限要素解析ソフトウェア(ANSYS Mechanical)を用いました。ANSYS Mechanicalは構造解析を行うことを可能とし、解析対象は鋼材やコンクリートだけでなくその他の各種材料にも適用でき、構造解析以外にも使用できる汎用性が高いという特徴があります。解析パラメータは、骨材に関する条件に840 case、施工欠陥に伴う空隙に関する条件に545 caseを設定しました。なお、本ソフトウェアは非常に高機能な解析を可能とし、かつ高価なため本研究センターのような特別な機関でのみ使用できる希少なものであり、それを使用できたことはとても幸運でした。

(4) 最後に

計算力学による構造解析を学び研究したことによって当該分野をコンクリートに適用する手法の一端を得たことは、今後の自身の研究に活かすとともに、自身の研究フィールドの拡張に寄与する貴重な機会でした。また、当該派遣機関での研究者同士の交流は貴重な縁を育むことができました。今後は本解析で尽くせていない条件の解析を含め計算力学を用いた研究を究めていきたいと思ひます。加えて、コンクリート内部の破壊挙動を視覚的に直接把握する直接的手法による実験の実施を目指しており、本研究結果は破壊現象の把握やその実験時の効率的なパラメータや計測項目とその箇所の設定のための貴重な検討資料になります。

謝辞

派遣研究において、Erkan Oterkus教授、Selda Oterkus教授、PDRCの皆さまには、表現できないほどのたくさんの親切をいただきました。とても幸せな時間を過ごすことができました。ここに付記し謝意を表します。最後に、この貴重な機会を与えていただいた日本大学と、派遣期間の不在中にさまざまなご協力をいただいた理工学部および交通システム工学科の関係者の皆さま、多くの方々を支えられて本海外派遣研究員を務め、そして無事終えることができました。ここに深く厚く御礼を申し上げます。



図1 Computer Labのある研究棟



図2 研究センターのメンバー
(Erkan Oterkus教授【右から4人目】、Selda Oterkus教授【同5人目】、齊藤本人【同3人目】)

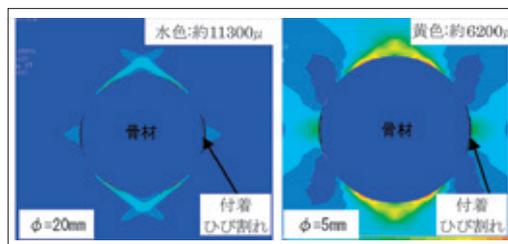


図3 Von-mises plastic ひずみ(拡大)(骨材=1個)
($\sigma=0.875f_c$, 附着なし(左: $\phi=20\text{mm}$, 右: $\phi=5\text{mm}$))

編集後記

ブリテン年報号では、学科および教員の1年間の研究活動や社会活動を取りまとめています。本学科が交通に関して幅広いアプローチで研究を進めていることを、多くの方に知っていただければ幸いです。

さて、ブリテンは本学科の広報誌として、研究や教育活動を在学生のみならず、高校生や一般の方にも広く知っていただくことを目的に制作しています。オープンキャンパスなどのイベントでは冊子として配布するほか、本学科のホームページでもご覧いただけます。一方で、近年の広報手法はSNSや動画コンテンツが主流となっており、広報誌としての在り方を再考する時期に来ていると感じています。今後は、学科のSNSやYouTubeと連携しながら、本学科の魅力をより多くの方に伝えられるコンテンツづくりに努めてまいります。引き続き、本年度も「交通ブリテン」をよろしく願ひいたします。(吉岡)

年報号では、各研究室・教員の活動を知ることができます。普段から、皆さんの活動・活躍を伺うことはありますが、このように一瞥で見ると、より研究活動に励もうと鼓舞されます。学生の皆さんにも、この年報号が研究室選択の良い判断材料になること、そして学習・研究に対する良い刺激になれば嬉しいです。興味がある研究・研究室があれば、先生や先輩を訪ねてみてはいかがでしょうか？(青山)

2月に学部4年生の卒研発表会や、修士2年生の修論審査会を聴講しました。他の研究室で、どのような研究を行っているのかを知る良い機会となりました。これらの発表を通して、改めて本学科の研究が多岐に亘っていることを実感しました。さまざまな角度から交通や、まちづくりについて研究を行っています。この年報号でも、研究室紹介や研究業績を紹介しています。皆さんも年報号を読み、「交通システム工学科」の専門分野の広さを実感してみてください。(飯田)